

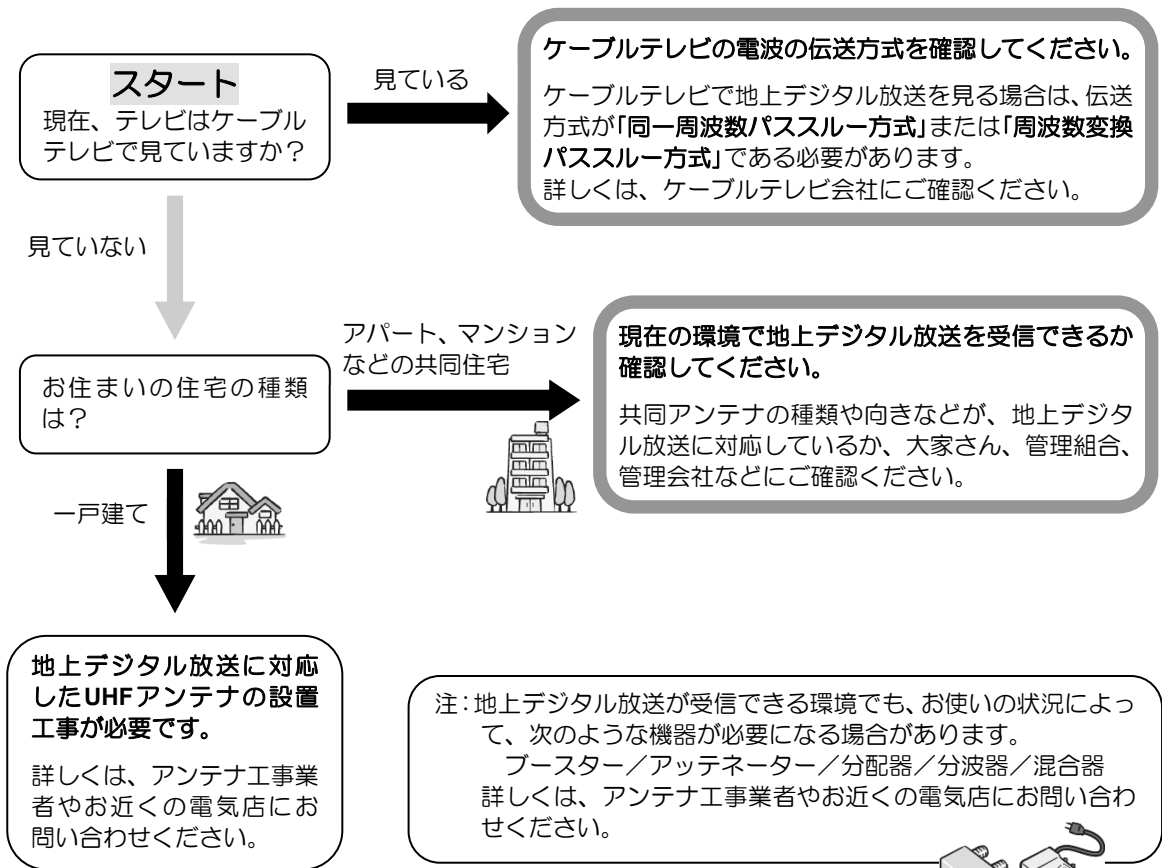
テレビ操作ガイド

「テレビ機能」を詳しく紹介

このマニュアルの表記について	4
お使いになるうえでのご注意	6
1. 各部の名称と働き	7
パソコン	7
リモコン	8
2. 準備をする	10
テレビを見るときのご注意	10
テレビを見るための準備をする	12
テレビを準備する	12
リモコンを準備する	18
3. 「DigitalTVbox」でテレビを見る	20
「DigitalTVbox」の初回設定をする	20
テレビを見る	23
番組表を使う	26
データ放送／Hybridcast を見る	31
アンテナ電源の供給（BS・110度CSデジタル放送）	33
テレビ番組の他の機器への配信	34
4. テレビ番組を録画する	35
録画の前に	35
テレビ番組を録画する	49
録画した番組を再生する	52
録画した番組のチャプターを編集する	54
録画した番組をネットワーク経由で再生する	55
録画した番組をメディアに書き出す	55
5. 困ったときの Q&A	64
画面がおかしい	64
音が聞こえない／変な音が聞こえる	68
操作ができない	69
メッセージが表示される	74
索引	76

受信環境の確認

地デジを受信できる環境であるか確認しましたか？
まだ確認していなければ、次のチャートでチェックしてください。



地上デジタル放送を見るためには

添付品を確認する

『取扱説明書<スタートガイド>』



B-CAS カードを挿入する

「miniB-CASカードをセットする」(→P.15)



アンテナ線を接続する

「アンテナケーブルを接続する」(→P.16)



リモコンの準備をする

「リモコンを準備する」(→P.18)



初回設定を行う

「「DigitalTVbox」の初回設定をする」(→P.20)



見る

「テレビを見る」(→P.23)

見ることができないときは？

「困ったときのQ&A」の「地上デジタル放送が映らない」(→P.65)

■お問い合わせ先（地デジ放送について）

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）

電話番号：0570-07-0101（IP電話などでつながらない場合は、03-4334-1111）

受付時間：平日…9時から18時　　土日・祝日…9時から18時

（社）デジタル放送推進協会（略称：「Dpa／ディーピーエー」）のホームページも見てみよう！

Dpa

社団法人デジタル放送推進協会
The Association for Promotion of Digital Broadcasting

<http://www.dpa.or.jp/>

デジタル放送に関する情報をご覧になれます。

- ・地デジ
- ・BS
- ・地デジ 放送エリアのめやす

（2016年3月現在）






このマニュアルの表記について

● 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

● 本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	冊子のマニュアルを表しています。
	富士通アドバイザーで見るマニュアルを表しています。 参照方法は  『取扱説明書<スタートガイド>』の表紙の裏面をご覧ください。

● 製品などの呼び方について


このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 10	Windows
Windows Media® Player 12	Windows Media Player
Corel® WinDVD®	WinDVD
StationTV®	StationTV
ワイヤレスTV (StationTV®)	StationTV
インテル® Celeron®	インテル Celeron

● 本文中の表記について


本書には、複数の機種の内容が含まれています。

お使いの機種によって、搭載されている機能が異なります。

 『取扱説明書<スタートガイド>』の「仕様一覧」で確認して、お使いの機種にあった記載をお読みください。

● 操作説明について

- このマニュアルでは、リモコンを使った操作を中心に説明しています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。また、一部マウスでの操作が必要な項目については、その旨を記載しています。

リモコンでの操作	マウスでの操作
<◇> で「確定」を選択し、  を押します	「確定」をクリックします

- このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

● 商標および著作権について

Corel、Corelのロゴ、WinDVDはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。

StationTV、およびワイヤレスTV（StationTV）は日本国における株式会社ピクセラの登録商標です。

SeeQVault および SeeQVault ロゴは、NSM Initiatives LLC の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2016

お使いになるうえでのご注意

● 大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集を行う場合は、事前に試し録画・録音・編集をして、正しくできるとをご確認ください。
- 本製品およびメディアを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

● ハードディスクについて

ハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDやBlu-ray Discに保存したりするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

● 停電などについて

- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、ハードディスクに保存してある録画番組が損なわれたりすることがあります。大切な録画番組は、DVDやBlu-ray Discに保存されることをお勧めします。
- 録画中やメディアへの書き出し中に停電などが起こると、録画や書き出しに失敗したり、ハードディスクから録画番組の一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

● 著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償・無償を問わず）、販売することは、法律により禁止されています。

● 本製品におけるMPEG-4ライセンスについて

本製品は、MPEG-4ビジュアル規格特許ライセンスを管理するMPEG LA LLCから弊社が製造・販売のライセンス許諾を得て提供しているものです。MPEG-4ビジュアル規格に準拠した態様で、本製品を個人が無償で使用することは、前記ライセンス許諾の範囲内であり許可されています。上記以外の使用については許可されておりません。

● 本製品の次のアプリは移動・削除しないでください。テレビ機能が正常に動作しなくなります。

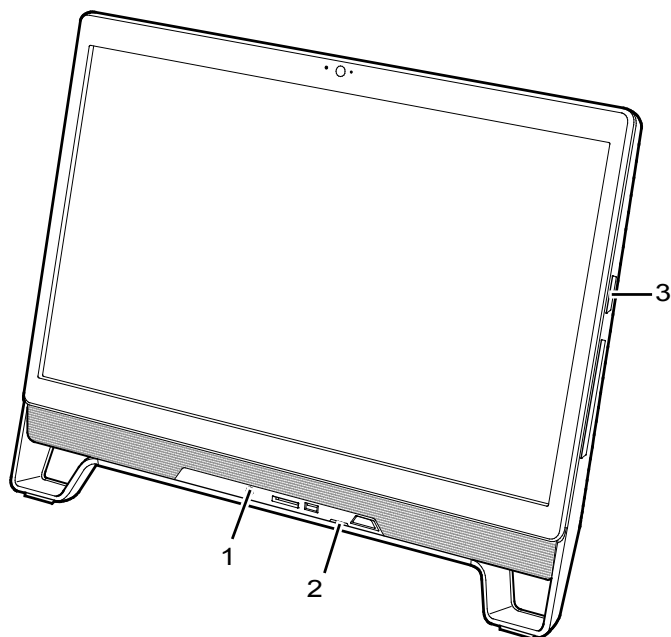
- DigitalTVbox
- PowerUtility – スケジュール機能
- Digital MediaServer設定ツール
- 富士通拡張機能ユーティリティ
- リモコンマネージャー


1 各部の名称と働き

このパソコンでテレビ機能をお使いになるうえで必要になる機能を説明します。

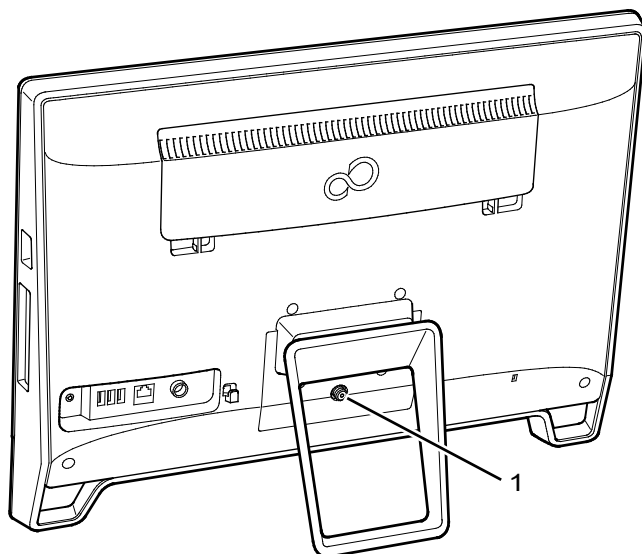
パソコン

■ パソコン本体前面



- 1 リモコン受光部
リモコンからの赤外線を受光します。
- 2 状態表示LED（録画ランプ）
テレビ番組の録画中に点灯します。
- 3 miniB-CASカードスロット
()
赤のminiB-CASカードを差し込みます (→P.15)。

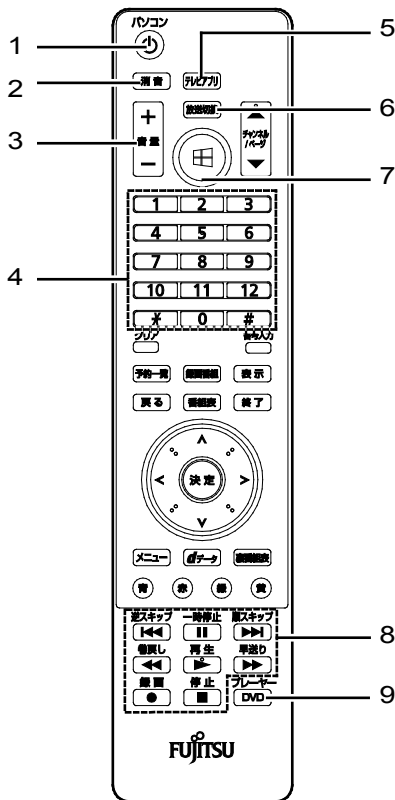
■ パソコン本体背面



- 1 アンテナ入力端子(地上デジタル、**BS・110度CSデジタル**)
(アンテナ入力)
テレビアンテナと接続します (→ P.16)。

リモコン

Windowsが起動しているときの主な機能について説明します。



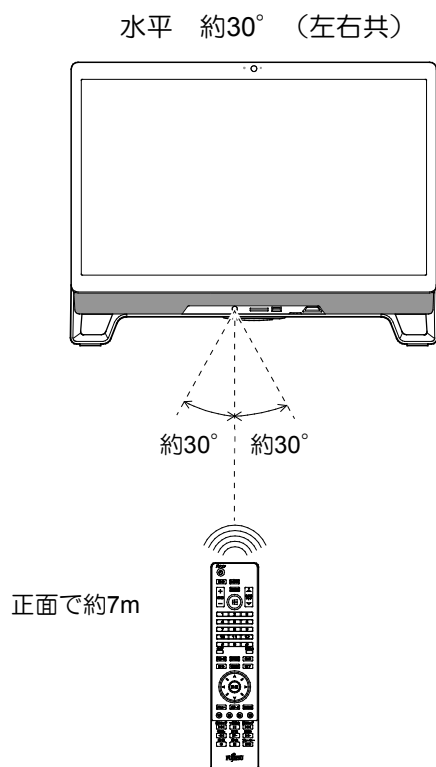
- 1 **パソコン電源ボタン**
パソコン本体の電源ボタンのように使います。
- 2 **消音ボタン**
パソコンから出力されている音声を一時的に消します。もう一度押すと元に戻ります。
- 3 **音量ボタン**
パソコンの音量を調節します。
- 4 **数字ボタン**
テレビのチャンネルやDVD-VIDEOのチャプターなどを指定します。
- 5 **テレビアプリボタン**
テレビを見るためのアプリ「DigitalTVbox」を起動します。
- 6 **放送切換ボタン**
このパソコンで受信する放送を切り換えます。
- 7 **スタートボタン**
スタートメニューを表示したいときに押します。
- 8 **操作ボタン**
DVD-VIDEOや録画したテレビ番組の再生などができます。
- 9 **DVD プレーヤーボタン**
DVD や Blu-ray Disc を再生するアプリ「WinDVD」を起動します。

Point

- テレビの操作については「テレビを見る」(→P.23)をご覧ください。

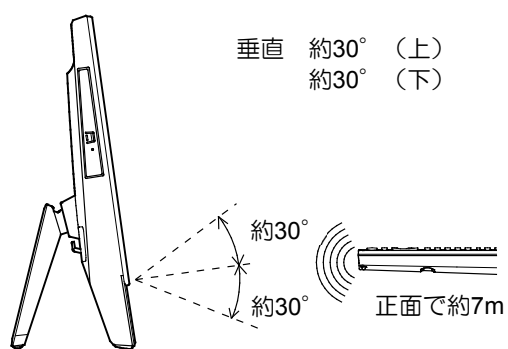
パソコン本体のリモコン受光範囲

■ 水平方向



(イラストは機種や状況により異なります)

■ 垂直方向



(イラストは機種や状況により異なります)

2 準備をする

このパソコンでは、テレビを見ることができます（「DigitalTVbox」でテレビを見る（→P.20））。また、宅内・宅外から放送中のテレビ番組、録画したテレビ番組を視聴できます。

	機能・特徴
DigitalTVbox	<p>パソコンで次のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビ番組の視聴 テレビ番組の録画予約、録画、録画した番組の再生 録画した番組の書き出し テレビ番組の他の機器への配信（→P. 34）

本章では、テレビを見る前の準備、注意事項について説明します。

テレビを見るとき注意

ここでは、このパソコンのテレビ機能をお使いになるときに注意していただきたいことを説明します。

■ 電波の受信状態について

- 画像および音声の品質は、アンテナの電波受信状況により大きく左右されます。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをご利用の場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。ご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。
- 電波の受信状態については、「「DigitalTVbox」でテレビを見る」の「受信レベルの確認」（→P.22）をご覧ください。

■ テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

- 「DigitalTVbox」をお使いのときに、「Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）」や「WinDVD」など他のアプリやスクリーンセーバーが動作していると、音声途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- Windowsの終了・シャットダウン・再起動をする場合や、スリープや休止状態にする場合は、**[終了]** を押して「DigitalTVbox」を終了してください。
- ダブル録画中は録画中のどちらかの番組または録画済みの番組しか視聴することができません。
- DVDに書き出すときの画質がXP、SP、LP、ぴったりの場合、デジタル放送の5.1チャンネル音声は、2チャンネルのステレオ音声に変換（ダウンミックス）されます。
- 電源プランの設定は「バランス」または「高パフォーマンス」でお使いください。それ以外の設定の場合、映像がコマ落ちすることがあります。
設定は次の手順で行ってください。
 1. **[]** を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックします。
 4. 設定を「バランス」または「高パフォーマンス」にします。

■ その他の注意

- 画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合は、次の手順で設定し直してください。
ご購入時の設定については、**[]** 『取扱説明書<活用ガイド>』の「使いこなすために」—「ディスプレイ」を確認してください。
 1. **[]** を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「デスクトップのカスタマイズ」▶「ディスプレイ」▶ウィンドウ左の「解像度の調整」をクリックして設定を行ってください。
- ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクの読み書き速度が低下します。定期的にデフラグを実行することにより、ファイルの断片化を解消できます。デフラグは次の手順で行ってください。
 1. **[]** を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「システムとセキュリティ」▶「管理ツール」の順にクリックします。
 4. 「ドライブのデフラグと最適化」をクリックすると、ディスクデフラグを実行するウィンドウが表示されます。

[重要]

SSD（フラッシュメモリディスク）お使いの場合は、ドライブのデフラグは行わないようにしてください。

テレビを見るための準備をする

このパソコンでテレビ番組を見るためには、デジタルテレビと同様の準備が必要です。

■ デジタル放送について

デジタル放送には、地上デジタル放送、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送があります。

BSデジタル放送、110度CS放送を見るためには、事前に放送事業者との受信契約が必要な場合があります。契約済みの場合は、新たに契約をする必要はありません。

また、個人でアンテナを設置している場合は、アンテナに電源を供給する必要があります。詳しくは、「アンテナ電源の供給（BS・110度CSデジタル放送）」（→P.33）をご覧ください。

■ 地上デジタル放送を見るための準備

STEP1 お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する

社団法人デジタル放送推進協会のホームページ (<http://www.dpa.or.jp/>) (2016年3月現在)で、お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内であるか確認できます。

STEP2 B-CASカード、アンテナケーブル、リモコンの準備をする

「テレビを準備する」(→P.12)、「リモコンを準備する」(→P.18)をご覧ください。miniB-CASカードのセットとアンテナケーブルの接続、リモコンの準備を行ってください。

テレビを準備する

アンテナとパソコンの接続方法やminiB-CASカードのセット方法について説明します。

テレビを見るために必要な準備

初めてテレビを見るときは、次の作業が必要です。

- 1** 接続方法を確認する (→ P.13)
- 2** 必要なものを用意する (→ P.14)
- 3** miniB-CASカードをセットする (→ P.15)
- 4** アンテナケーブルを接続する (→ P.16)

接続方法を確認する

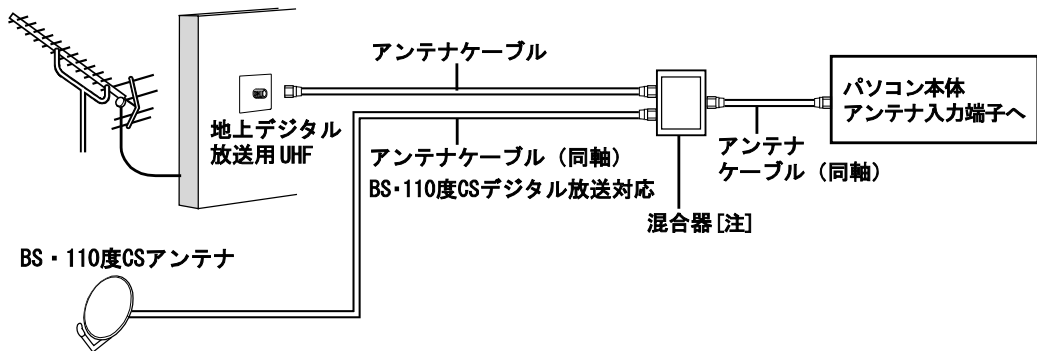
アンテナケーブルの接続方法は、アンテナの設置形態、壁のアンテナコネクタの形、お使いになるケーブルによって異なります。次の図を参考に、必要なケーブル類を用意してください。ここでは、パソコンのみを接続する場合を紹介しています。

重要 接続するアンテナコネクタについて

- 雷によるパソコンの破損、感電、火災の危険を少しでも低減するため、アンテナケーブルは、同軸ケーブルの外側（シールド側：網組み銅線部分）が接地されているアンテナコネクタに接続してください。
- アンテナ（コネクタ）が接地されているかどうかについては、アンテナ工事を実施したアンテナ工事業者にお問い合わせください。

■地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴する場合

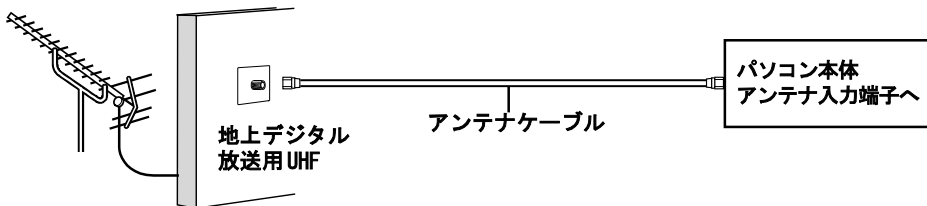
UHFアンテナ（地上デジタル放送対応）



注：BS・110度CSアンテナに電源を共有する場合の
混合器は、電流通過タイプを使用してください。

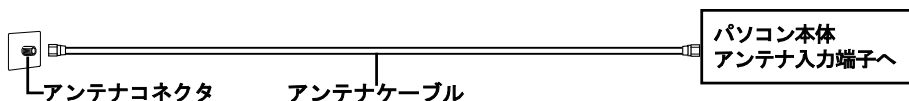
■地上デジタル放送を視聴する場合

UHFアンテナ（地上デジタル放送対応）



■マンションなどの共同受信の場合

マンションなどの共同受信の場合は、視聴できる放送が異なります。マンションの管理会社もしくは管理組合にお問い合わせください。



必要なものを用意する

■ 必ず用意してください

□ miniB-CASカード

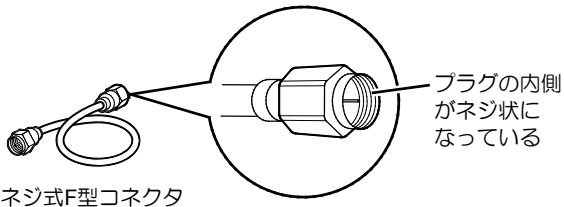


miniB-CASカードは台紙に貼り付けられています。

重要

- miniB-CASカードはお子様の手の届かないところに置いてください。誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

□ アンテナケーブル（別売）



ネジ式F型コネクタ

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式のF型コネクタプラグ付アンテナケーブルの使用をお勧めします。

なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。

重要 ネジ式でないF型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いの場合

- コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
- ネジ式でないF型コネクタプラグ付アンテナケーブルは、ネジ式に比べてノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

■ 必要に応じて用意してください

アンテナ線の形状などによって、必要なものが異なります。ここでは、代表的なものを説明します。「接続方法を確認する」（→ P.13）を参考に、用途にあった製品をご用意ください。

□ 混合器

別々の電波を、1本の線に混合するための機器です。

□ 分波器

1本の線に混合されている電波を分ける機器です。

□ 分配器

1本のアンテナ線を、複数の端子で使うために分配する機器です。

パソコンとお持ちのテレビを同時にご使用になる場合は必要になります。

□ ブースター

受信電波が弱い場合に電波を増幅させるための機器です。

□ アッテネーター

強すぎる電波を減衰して受信できるようにするものです。

miniB-CASカードをセットする

B-CASカードについて

- このマニュアルでは、「B-CASカード」と「miniB-CASカード」を総称して、「B-CASカード」と呼んでいます。
- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B-CASカードについては、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B-CASカードは、お客様と(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(略称:B-CAS)との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。
- B-CASカードの紛失・盗難時や、B-CASカードが破損したり汚れたりした場合は、B-CASカスタマーセンターまでお問い合わせください。

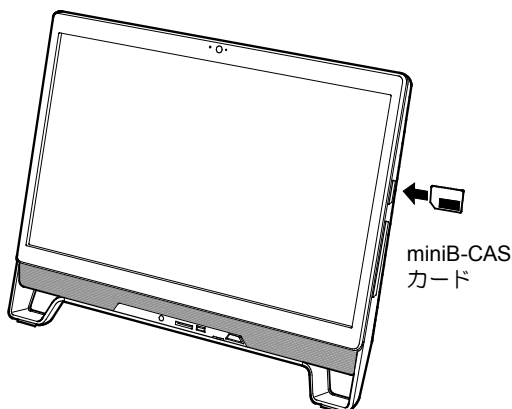
(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ (B-CAS) カスタマーセンター
 電話番号：0570-000-261 [IP電話の場合 045-680-2868]
 受付時間：10：00～20：00 (年中無休)



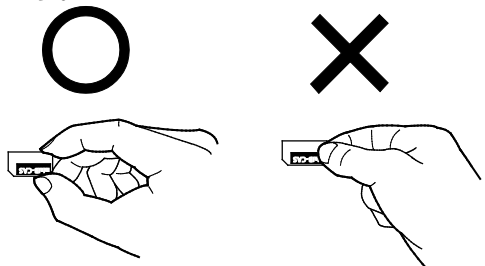
- miniB-CASカードの台紙に記載されている説明をよくお読みください。
- miniB-CASカードは必ずパソコン本体にセットしてください。miniB-CASカードを正しくセットしていないと、デジタル放送を視聴できません。

1 miniB-CASカードをminiB-CASカードスロットにセットします。

「miniB-CAS」と記載されている面をパソコン本体の前面側にして、カードの角が欠けている部分から、まっすぐに奥までしっかりとセットします。



- miniB-CASカードスロットには、付属のminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- パソコン本体背面側のminiB-CASカードスロットにセットするときは、miniB-CASカードを下図の○のように持ってください。×のように持つと、miniB-CASカードをまっすぐに挿入できず、破損や故障の原因となることがあります。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

Point miniB-CASカードを取り外す場合

- miniB-CASカードを取り外す場合は次の手順に従って操作してください。
 1. パソコン本体および周辺機器の電源を切り、パソコン本体の電源プラグをコンセントから抜きます。
 2. miniB-CASカードを一度押します。カードが少し飛び出します。
 3. 飛び出した miniB-CASカードを引き抜きます。

アンテナケーブルを接続する

⚠ 警告

- ⊘ 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。

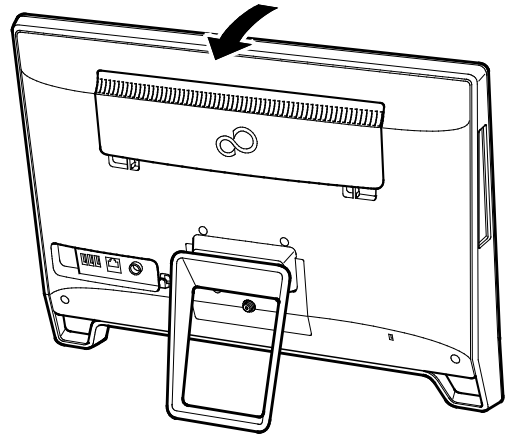
重要

アンテナケーブルを接続するときの注意

- アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないでください。
- F型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いの場合、ネジを締めるときに指をはさまないように気を付けてください。

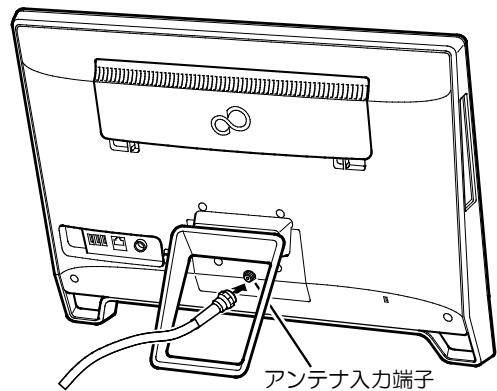
- 1** パソコンや接続されている機器の電源が入っている場合は、すべての電源を切りパソコン本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

- 2** パソコン本体の液晶ディスプレイの角度をかたむけます。





(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

- 3** パソコン本体のアンテナ入力端子に、アンテナケーブルを接続します。



- 4** パソコン本体の液晶ディスプレイの角度を直します。



- アンテナケーブルを接続する際は、パソコン本体の転倒に充分ご注意ください。詳しくは、『取扱説明書<スタートガイド>』の「取り扱い上のご注意」-「使用上のお願い」をご覧ください。
- デジタル放送のデータ放送で双方向通信をする場合は、インターネットに接続する必要があります。インターネットに接続できない場合は、『取扱説明書<スタートガイド>』の「インターネットに接続せずにセットアップしたときは」をご覧ください。なお、電話回線による双方向通信には、対応しておりません。

テレビ機能の仕様

コネクタ	アンテナ入力端子： F型コネクタ×1
TV音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF入力端子	75ΩF型コネクタ
BSアンテナ 電源供給	右旋円偏波時：DC15V、 最大4W
受信周波数	地上デジタル：90～770MHz BS・110度CSデジタル： 1032～2071MHz

リモコンを準備する



リモコンをお使いになるときの注意事項や、乾電池の交換方法について説明します。

リモコンで操作できること

リモコンでは次の操作ができます。

- テレビを見る
- テレビを録画する
- 録画したテレビ番組を見る
- DVDやBlu-ray Disc (BDXL™ 対応 Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ) を見る
- パソコンの音量を調整する
- Windowsのスタート/終了、スリープ、または休止状態にする

リモコンをお使いになるうえでの注意

- 操作は、このパソコンに添付のリモコンで行ってください。
- リモコンをお使いになる場合には、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。通知領域にある  をクリックし、 (リモコンマネージャー) が表示されているか、確認してください。
- このリモコンの通信方式は、赤外線方式です。
- アプリの起動中や終了中にボタン操作を行うと、パソコンが正常に動作しないことがあります。
- 信号を受けやすいように、リモコンをパソコン本体の受光部に向けてください。
- パソコン本体の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- 直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- リモコンをプラズマディスプレイ、プラズマテレビ、およびハロゲンヒーターなどの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。これはプラズマディスプレイ、プラズマテレビ、およびハロゲンヒーターなどから放射される赤外線により、リモコンとパソコン本体の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。このようなときは、パソコン本体またはプラズマディスプレイ、プラズマテレビ、およびハロゲンヒーターなどの設置場所を変更してください。

リモコンに乾電池を入れる

警告



- 乾電池を機器に入れる場合は、+ (プラス) と- (マイナス) の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂・液もれ・発火の原因となります。



- 充電式電池はお使いにならないでください。十分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。また、故障の原因となる場合があります。

⚠ 注意



- 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。



- 使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液もれなどの原因となることがあります。

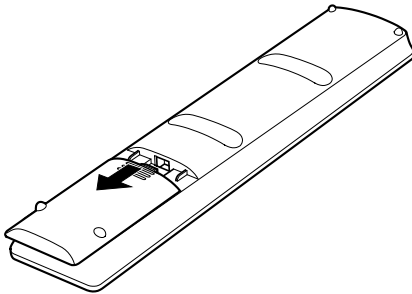


- 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。液もれ、破裂の原因になります。

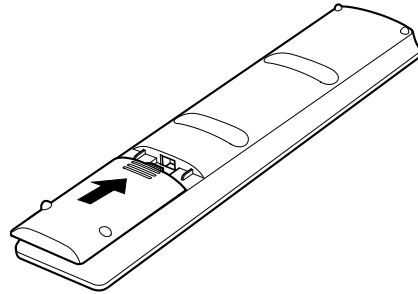
Point

- ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池（単4形乾電池2本）に交換してください。新しい乾電池を使用した場合の寿命の目安は、約6か月です。

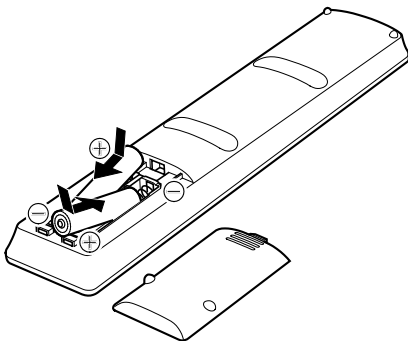
1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。



3 電池ボックスのふたを閉めます。



2 乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを確認し、添付の単4形乾電池を入れます。




3



「DigitalTVbox」でテレビを見る

本章では、「DigitalTVbox」の初回設定と、テレビを見るための基本的な操作方法について説明します。

「DigitalTVbox」の初回設定をする

「DigitalTVbox」の初回設定は、マウスを使って行います。

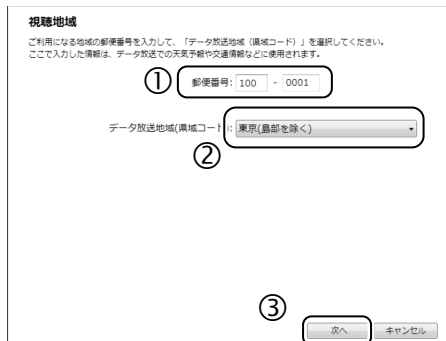
- 1 パソコンが起動していない場合はリモコンの  を押します。
パソコンが起動します。

- 2  ▶  (すべてのアプリ) ▶ 「PIXELA」 ▶ 「DigitalTVbox」の順にクリックします。

「ソフトウェア使用許諾書」の画面が表示されます。

- 3 「ソフトウェア使用許諾書」の内容を確認し、「はい」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

- 4 お住まいの地域の郵便番号などを設定します。



視聴地域

ご利用になる地域の郵便番号を入力して、「データ放送地域(県域コード)」を選択してください。
ここで入力した情報は、データ放送での天気予報や交通情報などに使用されます。

① 郵便番号: 100 - 0001

データ放送地域(県域コード): 東京(島部を除く)

②

③

次へ キャンセル

- ① 郵便番号を入力します。
- ② 「データ放送地域(県域コード)」から、お住まいの地域を選択します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

- 5 チューナー／アンテナの設定をします。



チューナー／アンテナ


BSデジタル放送およびCSデジタル放送用アンテナへの電源供給を設定します。
すでに他の機器から電源を供給している場合や、集合住宅などで共用アンテナを使用している場合は[OFF]にしてください。アンテナに電源が供給されていない場合は[ON]にしてください。

① アンテナ電源(LNB電源)設定: OFF

②

戻る 次へ キャンセル

- ① アンテナ電源の「ON」または「OFF」を選択します。
アンテナ電源については、「アンテナ電源の供給(BS・110度CSデジタル放送)」(→P.33)をご覧ください。
- ② 「次へ」をクリックします。

- 6 「地域／チャンネルスキャン」画面で、「アンテナ線の接続」と「B-CASカードの挿入」の  をクリックして にします。

7 利用する放送波と地域を選択します。

地域/チャンネルスキャン

以下の点を確認して、問題なければチェックボックスにチェックを入れてください。

アンテナ線の接続 B-CASカードの挿入

「放送波」、「ご利用の地域」（地上デジタル放送を受信する場合のみ）を選択して、「スキャン開始」ボタンをクリックすると、チャンネルのスキャンが開始されます。スキャンには数分かかります。

なお、電波が強すぎてチャンネルが検出されない場合があります。そのときは、「戻る」で前の画面に戻って、「アッテネータ設定」を[ON]にしてから再度スキャンしてください。

放送波: **すべての放送波**

ご利用の地域: **東京** 検出されたチャンネルのみを表示

3 スキャン開始

選択中のチャンネルの受信レベル: 0 (悪く)

戻る 次へ キャンセル

- ① 利用する放送波を選択します。
- ② 利用する地域を選択します。
BS・110度CSデジタル放送だけを設定する場合は、地域を選択する必要はありません。
- ③ 「スキャン開始」をクリックすると、スキャンが開始されます。

8 スキャンが完了したら、「次へ」をクリックします。

地域/チャンネルスキャン

以下の点を確認して、問題なければチェックボックスにチェックを入れてください。

アンテナ線の接続 B-CASカードの挿入

「放送波」、「ご利用の地域」（地上デジタル放送を受信する場合のみ）を選択して、「スキャン開始」ボタンをクリックすると、チャンネルのスキャンが開始されます。スキャンには数分かかります。

なお、電波が強すぎてチャンネルが検出されない場合があります。そのときは、「戻る」で前の画面に戻って、「アッテネータ設定」を[ON]にしてから再度スキャンしてください。

放送波: **すべての放送波**

ご利用の地域: **東京** 検出されたチャンネルのみを表示

地上デジタル	18ch	BS110度CS	地上デジタル
地上デジタル	20ch	BS110度CS	地上デジタル
地上デジタル	20ch	BS110度CS	地上デジタル
地上デジタル	21ch	BS110度CS	地上デジタル
地上デジタル	21ch	BS110度CS	地上デジタル

スキャン開始

選択中のチャンネルの受信レベル: 63 (良好)

戻る **次へ** キャンセル

Point

- 電波が強すぎたり弱すぎたりすると、受信レベルが小さく表示されます。

9 録画番組を保存するハードディスクドライブを指定します。

保存先ドライブ

録画番組の保存先ドライブを設定します。
保存先にするドライブにチェックを入れてください。(複数選択可)
複数のドライブを選択する場合は、「最初に使用する保存先ドライブ」を指定してください。

保存先ドライブ設定:

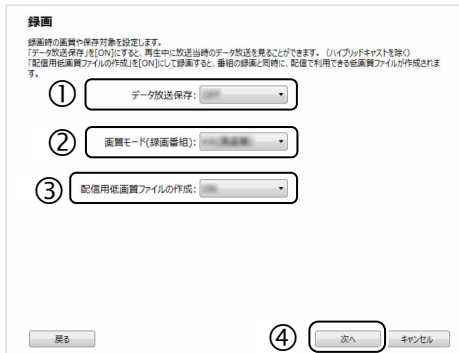
C:\KSTVLERec*
 D:\KSTVLERec*

2 最初使用する保存先ドライブ: D:\KSTVLERec*

戻る **3** 次へ キャンセル

- ① 「保存先ドライブ設定」のリストから、録画番組を保存するハードディスクドライブを選び、 をクリックして にします。複数のハードディスクドライブを選んでおくと、1つのハードディスクドライブの空き容量が不足したときに、別のハードディスクドライブに録画番組を保存します。
- ② 「最初に使用する保存先ドライブ」を選択します。
複数のハードディスクドライブを保存先として設定している場合に、優先して保存するハードディスクドライブを設定します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

10 「データ放送保存」、「画質モード（録画番組）」、「配信用低画質ファイルの作成」を指定します。



- ① 「ON」にすると録画時にデータ放送を保存します。「OFF」にすると録画時にデータ放送を保存しません。(初期値:OFF)
- ② 番組を録画するときの画質を指定します。(初期値:DR(最高画質))
詳しくは、「ハードディスクに録画するときの画質」の選び方(→P.38)をご覧ください。
- ③ 配信用低画質ファイルの設定を行います。(初期値:OFF)
- ④ 「次へ」をクリックします。

11 録画番組を配信するかどうか設定します。



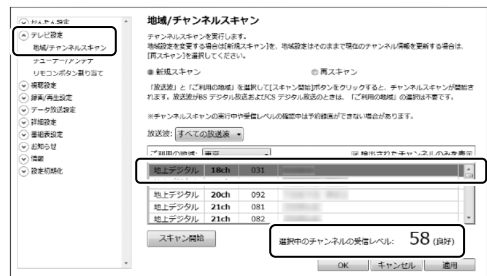
- ① 設定を行う場合は、「設定」をクリックします。Digital MediaServer設定ツールが起動します。
- ② 「次へ」をクリックします。

12 「完了」画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

テレビの視聴画面が起動します。
これで初回設定は完了です。

Point 受信レベルの確認

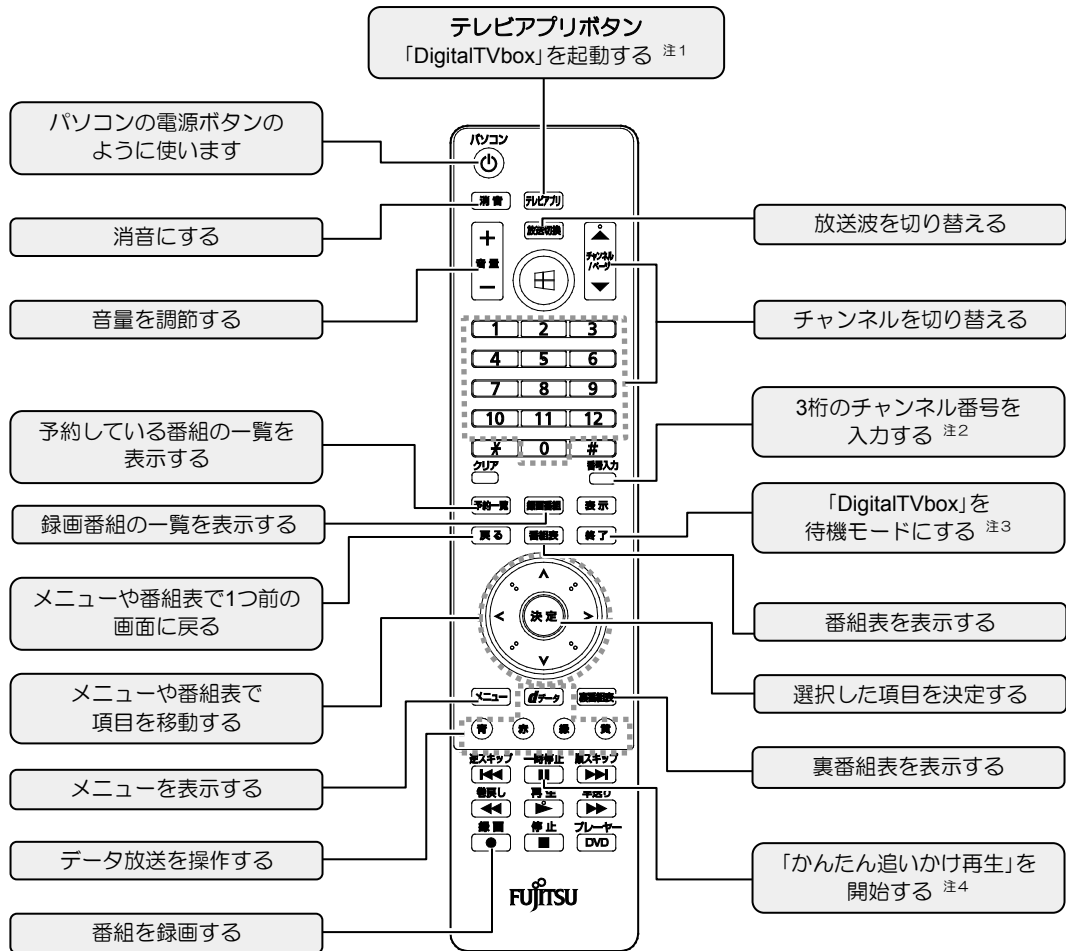
- 「DigitalTVbox」では、デジタル放送の受信レベルをテストし、アンテナの角度が最適かどうかを確認できます。
テレビ画面をクリックして表示される操作パネルから「メニュー」▶「設定」の順にクリックすると、「DigitalTVbox [設定画面]」が表示されます。
「テレビ設定」▶「地域／チャンネルスキャン」の順にクリックし、放送局を選択すると、受信レベルが表示されます。
受信レベルが60前後（またはそれ以上）になっていればアンテナの角度が最適の状態で、映像を正しく表示できます。なお、ここで表示される受信レベルの数値は、具体的な信号の強度を示すものではありません。



テレビを見る

ここでは、テレビの基本的な操作方法について説明します。
 テレビの操作には、「リモコンでの操作」と「マウスでの操作」があります。

リモコンで操作する



(イラストは機種や状況により異なります)

- 注1: **テレビアプリ** (テレビアプリボタン) を押すと、「DigitalTVbox」が起動します。
 Windowsのサインインパスワードを設定している場合は、設定が必要です。詳しくは、「操作ができない」の「Windowsのサインインパスワードを設定している」(→P.69)をご覧ください。
- 注2: **番組入力** を押してから数字ボタンでチャンネルを入力して、チャンネルを切り替えることができます。
- 注3: 「待機モード」について、詳しくは「テレビを終了する」(→P.24)をご覧ください。
- 注4: テレビの視聴中に **一時停止** を押すと番組が一時停止し、**再生** を押すと、そこから番組が再開されます。少し席を外したいときなどに便利な機能です。
 「かんたん追いかけて再生」では、**一時停止** を押した時点から番組が終了するまで、番組が録画されます。

マウスで操作する

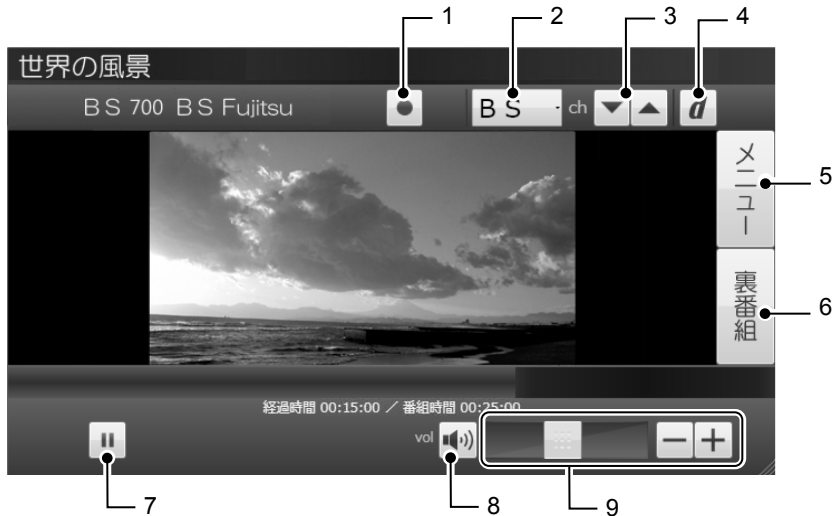
■ テレビを起動する

マウスを使ってテレビを起動するときは、次の手順で「DigitalTVbox」を起動します。

☐ ▶☐(すべてのアプリ)▶「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

■ 操作パネルの使い方

テレビの視聴中にテレビ画面をクリックすると、操作パネルが表示されます。



1	視聴中の番組を録画します。 「見ている番組を録画する」(→P.49)	7	テレビの視聴中に、「かんたん追いかけて再生」ができます。(→P.23)
2	放送波を切り替えます。	8	🔊 をクリックして 🤫 にすると、消音になります。もう一度クリックすると元の音量に戻ります。
3	チャンネルを切り替えます。	9	
4	データ放送を表示します。		🔊 を左右に動かす、または - + をクリックして、音量を調節します。
5	メニューを表示します。		
6	視聴している番組以外の、放送中の番組一覧を表示します。		

■ テレビを終了する

操作パネルが表示された状態で、「メニュー」▶「待機モードへ」の順にクリックします。



- 「DigitalTVbox」を完全に終了したい場合は、通知領域にある ⏏ をクリックし、表示される 🗑 を右クリックして「終了する」をクリックします。
「DigitalTVbox」を完全に終了すると、予約録画や番組情報の取得ができません。録画予約があるときにテレビを終了したい場合は、待機モードにしてください。

字幕や音声などの設定を変更する（メニュー）

メニューを使うと、字幕や音声の切り替えなどを行うことができます。

- 1** テレビ画面が表示されている状態で、
メニュー を押します。



（選択できる項目は状況により異なります）

- 2** <◇> で設定したい項目を選択し、設定の変更を行います。

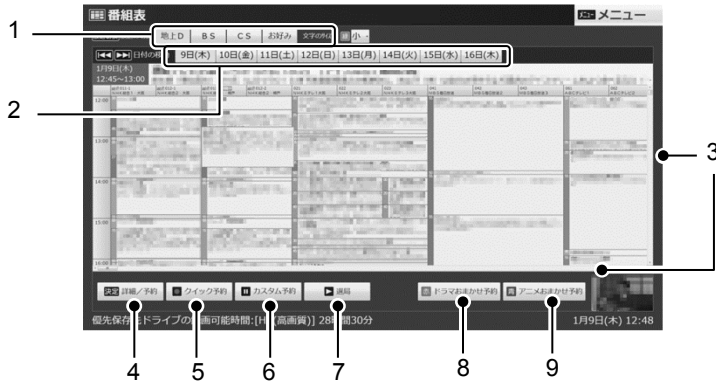
- 3** もう一度 メニュー を押すと、メニューが終了します。

Point

- 字幕対応番組で、常に字幕を表示するように設定することもできます。
 「メニュー」▶「設定」▶「視聴設定」▶「字幕」の順にクリックして表示される設定画面で変更します。
- 「メニュー」▶「表示切換」で「DigitalTVbox」のウィンドウサイズを変更できます。詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
 1. ▶ （すべてのアプリ）▶ 「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

番組表を使う

このパソコンには、放送波からテレビ番組の情報を取得し、表示するための電子番組表が用意されています。



1 放送波を切り替えます。	7 選択している番組の視聴画面を表示します。
2 日付を切り替えます。	8 ドラマをおまかせで予約します。 条件の指定は変更できます。 「おまかせ予約」を設定する (→P.29)
3 スクロールバーを使って、放送局や時間帯を変更します。	9 アニメをおまかせで予約します。 条件の指定は変更できます。 「おまかせ予約」を設定する (→P.29)
4 選択している番組の詳細情報を表示します。	
5 選択している番組を録画予約します。	
6 カスタム予約をします。 「カスタム予約する」 (→P.51)	

■ 番組表の操作

リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
番組表を表示する／閉じる	番組表
放送局や時間帯を変更する	<◇>
放送波を切り替える	放送切換
選択している番組の詳細情報を見る	決定
前日の番組表を表示する	逆スキップ ◀◀
翌日の番組表を表示する	順スキップ ▶▶
選択している番組を録画予約する	録画 ●

重要 番組表を使うときの注意

- 番組データは自動的に受信されますが、受信に時間がかかる場合があります。また、受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。
- 番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。

Point

- 「メニュー」▶「設定」▶「番組表設定」の順にクリックして表示される設定画面で、番組データを取得する方法を設定できます。

3. 「DigitalTVbox」でテレビを見る

■ 番組を探す

番組のジャンルやキーワードなどから、見たい番組を探すことができます。

1 番組表を表示した状態で **メニュー** を押し、「番組検索」を選択し、**決定** を押します。

「番組検索」画面が表示されます。
ここでは、マウスを使った操作方法を説明します。

2 「詳細検索／おまかせ予約」をクリックします。



3 「詳細検索」画面で、検索の条件を指定します。



フリーワードをリモコンで入力することはできません。キーボードで入力してください。

Point

- 「条件を登録」をクリックすると、検索条件を登録できます。登録した検索条件は、「検索条件」のリストから選んで呼び出すことができます。

4 条件の指定が完了したら、「検索開始」をクリックします。

検索結果が表示されます。

■ 条件を指定して自動で録画する（「おまかせ予約」）

ジャンルやキーワードなどの条件を登録しておくことで、その条件に合った番組を自動で録画します。

重要

- 「おまかせ予約」は録画を保証するものではありません。確実に録画をしたい場合は、録画予約を行ってください（→P.50）。
- 「おまかせ予約」を登録している場合、通常の録画予約を行うときに「外の予約と重複しています」というメッセージが表示される場合があります。この場合は **予約一覧** を押して、予約一覧から録画予約の確認をしてください。
- 通常の録画予約と「おまかせ予約」が重複する場合、「おまかせ予約」で予約された番組は、録画番組一覧に「中止」と表示されることがあります。これは通常の録画予約を優先して実行するためで、故障ではありません。

「おまかせ予約」を設定する

1 テレビ画面が表示されている状態で **メニュー** を押し、「おまかせ予約」を選択し、**決定** を押します。

2 「詳細検索」画面で、検索の条件を指定し、「条件を登録」をクリックします。

フリーワードをリモコンで入力することはできません。キーボードで入力してください。

Point

- 登録した検索条件は、「検索条件」のリストから選んで呼び出すことができます。

3 登録名を入力して「登録」をクリックします。

条件が登録され、「詳細検索」画面に戻ります。

4 「検索開始」をクリックします。

検索結果が表示されます。

5 「おまかせ予約」をクリックします。



「おまかせ予約」が設定され、検索された番組を録画予約します。
以降、番組表データを受信すると、条件に合った番組が自動的に録画予約されます。

Point

- 「おまかせ予約」と通常の予約録画が重なった場合は、通常の予約録画が優先されます。
- 「おまかせ予約」した番組は、番組表上に 🕒 (緑) が表示されます。
- 「おまかせ予約」した番組は、「予約一覧」画面や「録画番組一覧」画面で「おまかせ」と表示されます。



「おまかせ予約」を解除する

- ① 「番組検索」画面で、削除したい検索条件を選択します。
「おまかせ予約」に設定されている検索条件は、赤字で表示されます。
- ② 「おまかせ予約削除」をクリックします。



「おまかせ予約」で録画した番組を自動削除する条件を設定する

「おまかせ予約」で録画した番組は、録画保存先のハードディスク容量が15.5GB以下になると、古いものから自動で削除されます。

また、操作パネルから、「メニュー」▶「設定」▶「録画／再生設定」▶「番組自動削除」で、「録画件数」または「未視聴期間」を設定すると、いずれかの条件を超えた場合に、保護している番組を除いて、古い番組から順番に削除されます。

データ放送／Hybridcastを見る

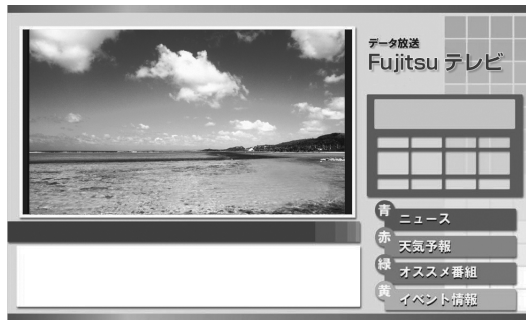
「データ放送」とは、番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどを介した双方向サービスを利用してクイズに答えるなど、番組に参加することができます。

また、一部の放送局および番組ではHybridcast（ハイブリッドキャスト）を表示することが可能です。

「Hybridcast」とは、放送とインターネットの両方を使って、従来のデータ放送より高画質な画像やアニメーションなどを表示させたり、テレビ番組にインタラクティブな要素を加えたりできるサービスです。また、タブレットやスマートフォンなどの携帯端末との連携、連動もより密接に行えるようになっています。

■ データ放送／Hybridcastの見かた



- 1 テレビ画面が表示されている状態で、**dデータ** を押します。





- 2 <◇>、**決定**、**青**、**赤**、**緑**、**黄** などのボタンで操作します。

- 3 もう一度 **dデータ** を押すと、元の画面に戻ります。

重要 データ放送を見るとき注意

- 録画番組にデータ放送のデータを保存する場合は、「メニュー」▶「設定」▶「録画／再生設定」▶「録画」で「データ放送保存」を「ON」に設定します。
- 双方向サービスの利用には、有線LANによるインターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。
- 双方向サービスは、インターネット接続を利用してデータの送受信を行う形式が中心ですが、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送の一部の番組では、電話回線を使った双方向サービスが提供されています。電話回線を使った双方向サービスはご利用になれませんのでご注意ください。
- 双方向サービスについて詳しくは、「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
 -  ▶  (すべてのアプリ) ▶ 「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。
- データ放送の画面をマウスで操作することはできません。「メニュー」▶「データ放送操作パネル」で表示されるデータ放送操作パネルを使って操作してください。

重要 Hybridcastを見るとき注意

- Hybridcastを表示する時は、リモコンモードでのご使用をおすすめします。
- 録画番組でHybridcastを表示することはできません。
- Hybridcastの利用には、有線LANによるインターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。
- Hybirdcastの一部コンテンツでは「DigitalTVboxではこのコンテンツを表示できません」と表示され、内容が表示できないものがあります。
- Hybridcastについて詳しくは、「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
 -  ▶  (すべてのアプリ) ▶ 「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。
- Hybridcastの画面をマウスで操作することはできません。「メニュー」▶「データ放送操作パネル」で表示されるデータ放送操作パネルを使って操作してください。

アンテナ電源の供給（BS・110度CSデジタル放送）

BS・110度CSデジタル放送用アンテナに供給する電源を、「アンテナ電源」といいます。電源がアンテナに供給されないと、BS・110度CSデジタル放送の映像が表示されません。

アンテナ電源の供給方法は、お住まいの種類により異なります。

■ アパート・マンションなどの共同住宅の場合

共同アンテナが設置されている場合は、各家庭からの電源供給は不要です。

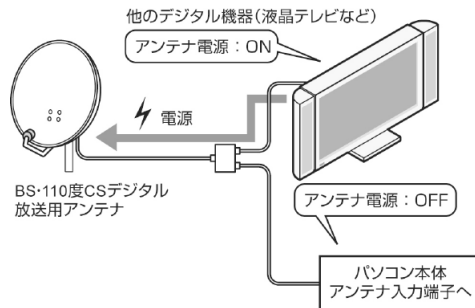
[メニュー] を押して表示されるメニューから、「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」の順にクリックし「アンテナ電源（LNB電源）設定」の設定を「OFF」に変更してください。

■ 一戸建て住宅の場合

アンテナを共有している

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有している場合は、デジタル機器から電源を供給します。

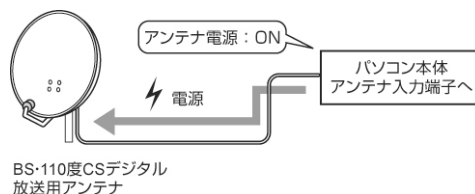
[メニュー] を押して表示されるメニューから、「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」の順にクリックし「アンテナ電源（LNB電源）設定」の設定を「OFF」に変更してください。



アンテナを共有していない

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有していない場合は、パソコンから電源を供給します。

[メニュー] を押して表示されるメニューから、「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」の順にクリックし「アンテナ電源（LNB電源）設定」の設定を「ON」に変更してください。





テレビ番組の他の機器への配信

本パソコンでは、家庭内ネットワーク経由で、他のパソコン、タブレット、スマートフォンなどにテレビ番組を配信できます。配信した番組を他のパソコンなどで見るには、専用のアプリケーションが必要です。

「StationTV」（ピクセラ社製（無料））を利用することで、次のことができるようになります。

- テレビ番組のライブ視聴（宅内）
- テレビ番組の録画予約、録画した番組の視聴（宅内）

詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。

1.  ▶ （すべてのアプリ）▶ 「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

重要

- 宅外からテレビ番組のライブ視聴、録画予約、録画した番組の視聴を行うには、ピクセラ社製「リモート視聴プラグイン」（有料）が必要になります。詳しくは、<http://www.fmworld.net/fmv/fh/> をご覧ください。）
- インテル Celeron プロセッサ搭載機種の場合、StationTVを利用してパソコン、タブレット、スマートフォンから視聴することはできません。

4 テレビ番組を録画する

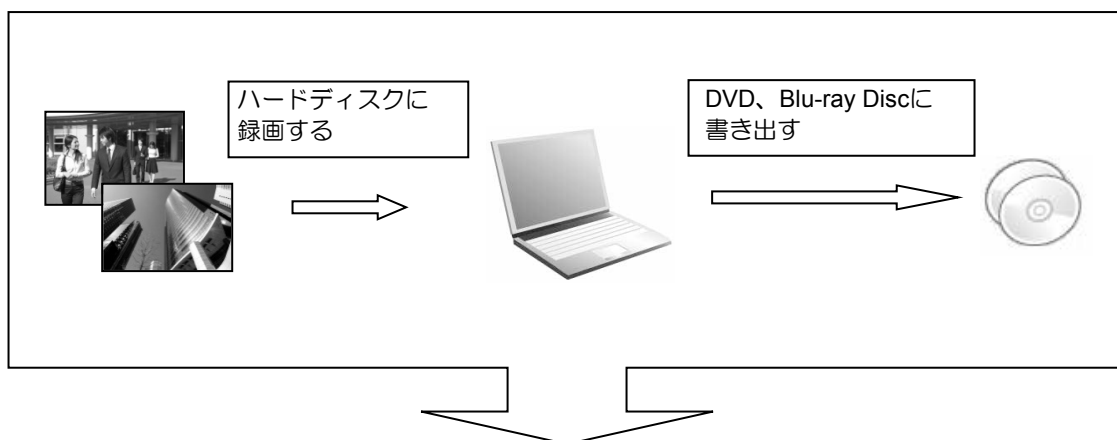
本章では、テレビ番組の録画や録画した番組の再生、メディアに書き出す方法について説明します。

録画の前に

録画する前に考えること

このパソコンでは、次のことができます。

- テレビ番組をハードディスクに録画する
- 配信用低画質ファイルをハードディスクに録画する
- ハードディスクに録画した番組をSeeQValut対応メディアに書き出す
- ハードディスクに録画した番組をDVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き出す



ハードディスクに録画する前に次のことを考えておく必要があります。設定を変更する場合は、「録画の設定を変更する」(→P.36)をご覧ください。

• 何を優先したいか？

きれいに録画したいのか、たくさん録画したいのかによって、選ぶ画質が変わります。

• DVDかBlu-ray Discのどちらに書き出すか？

「ハードディスクに録画するときの画質」と、「書き出すディスクの種類」によって、書き出すときに選べる画質が決まります。ディスクに書き出すときのことも考えて、「ハードディスクに録画するときの画質」を設定してください。

録画の設定を変更する

ここでは、録画の設定について説明します。

録画番組を保存するハードディスクドライブや画質を変える場合は、あらかじめ設定を変更しておく必要があります。

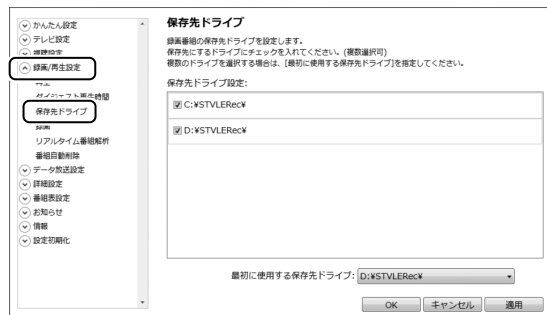
1 テレビを起動した状態で **メニュー** を押します。

2 **<◇>** で「設定」を選択し、**決定** を押します。

3 マウス操作に切り替わるというメッセージが表示されたら、**<◇>** で「はい」を選択し、**決定** を押します。

この後はマウスを使って操作してください。

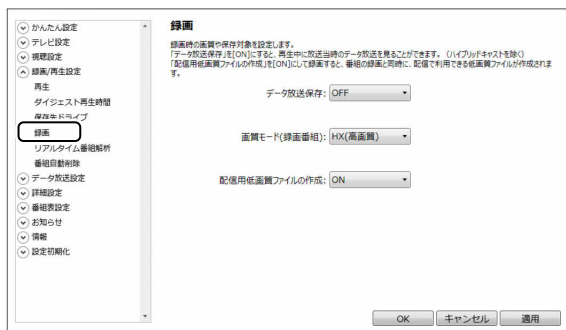
4 録画番組を保存するハードディスクドライブについて設定するときは、左側のメニューで「録画／再生設定」▶「保存先ドライブ」の順にクリックします。



設定項目	説明
保存先ドライブ設定	録画番組を保存するハードディスクドライブを設定します。DVD、Blu-ray Disc、SDカードなどに直接録画することはできません。
最初に使用する保存先ドライブ	複数のハードディスクドライブを保存先として設定している場合に、優先して保存するハードディスクドライブを設定します。

設定を変更したら「適用」をクリックします。

5 「データ放送保存」、「画質モード（録画番組）」、「配信用低画質ファイルの作成」について設定するときは、左側のメニューで「録画」をクリックします。



設定項目	説明
データ放送保存	「ON」にすると録画時にデータ放送を保存します。「OFF」にすると録画時にデータ放送を保存しません。（初期値：OFF）
画質モード (録画番組)	<p>「ハードディスクに録画するときの画質」を指定します。 (初期値：DR（最高画質）)</p> <p style="text-align: center;">(最高画質) (高画質) (長時間) (超長時間1) (超長時間2)</p> <p style="text-align: center;">← DR HX HS HL HE →</p> <p style="text-align: center;">きれい 長時間録画</p> <p>詳しくは、「ハードディスクに録画するときの画質」の選び方（→P.38）をご覧ください。</p>
配信用低画質 ファイルの作成	「ON」にすると録画時に配信用低画質ファイルを作成します。配信機能を使用するとき、モバイル端末向けの小さいサイズで録画番組を配信することができます。（初期値：OFF）

注：ダブル録画する場合、次の点に注意してください。

- 「画質モード（録画番組）」を「HX」以下の画質に設定した場合、録画が同じ時間帯で重複するなどにより、録画画質が「DR」に変更される場合があります。なお、変更された録画番組は、録画番組一覧画面に「振替DR」と表示されます。
- 「配信用低画質ファイルの作成」を「ON」に設定しても、「DR」画質で録画された場合に、配信用低画質ファイルが作成されない場合があります。

設定を変更したら「適用」をクリックします。

設定がすべて終わったら「OK」をクリックして画面を閉じます。

外付けハードディスクを使う

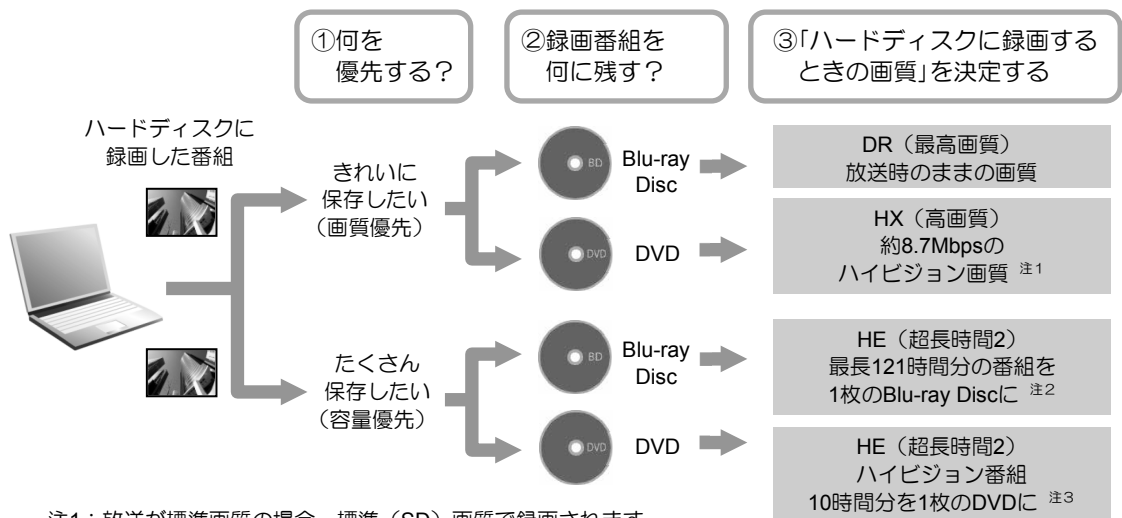
このパソコンでは、USB接続した外付けハードディスクに、テレビ番組を直接録画できます。また、外付けハードディスクにある録画番組は、そのままメディアに書き出すこともできます。外付けハードディスクに録画するときは、「保存先ドライブ設定」や「最初に使用する保存先ドライブ」を変更してください。

■ 外付けハードディスクに録画するときの注意

- NTFS形式に初期化（フォーマット）されたUSB2.0以上対応のハードディスクのみ、使用できます。
- 外付けハードディスクはパソコン本体に直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合、録画やメディアへの書き出しに失敗するなどの問題が発生することがあります。
- 録画を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているか確認してください。指定したドライブが作業開始時に使用可能な状態になっていないと、録画やメディアへの書き出しができません。
- SeeQVault対応の外付けハードディスクに番組録画した場合、通常の録画用ハードディスクとして扱われます。そのため、外付けハードディスクを他の装置に接続して再生する場合、録画した番組を同じハードディスクに書き出す必要があります。書き出し方法については、「録画した番組をメディアに書き出す」（→P.55）をご覧ください。
- 録画中は、外付けハードディスクにファイルコピーなどの負荷を与えないでください。録画番組の映像が止まったり、コマ落ちしたりする場合があります。

「ハードディスクに録画するときの画質」の選び方

「ハードディスクに録画するときの画質」と書き出すメディアの種類によって、書き出すときに選べる画質が決まります。DVDやBlu-ray Discなどのディスクに録画したデータを保存したい場合、ディスクに書き出すときのことと考えて、「ハードディスクに録画するときの画質」を選んでください。



注1：放送が標準画質の場合、標準（SD）画質で録画されます。

注2：BD-R XLに書き出した場合。

注3：DVD-R DLに書き出した場合。

上記は選び方の目安です。特定の媒体（ディスク）や画質をお勧めするものではありません。

■ 録画するときの画質による仕様の違い

ハードディスクに録画するときの仕様

ハードディスクに録画するときの画質	DR	HX	HS ^{注1}	HL ^{注1}	HE ^{注1}
ビットレート	地上デジタルHD : 約17Mbps 地上デジタルSD : 約8Mbps ^{注2} BSデジタルHD : 約24Mbps BSデジタルSD : 約11Mbps 110度CSデジタルHD : 約24Mbps 110度CSデジタルSD : 約11Mbps ^{注2}	約 8.7Mbps	約 4.5Mbps	約 2.2Mbps	約 1.6Mbps
画質	ハイビジョン (HD) ^{注3}				
データ形式	MPEG2-TS (音声: AAC)	H.264/MPEG-4 AVC (音声: AAC)			
データ放送のデータ	設定に依存 ^{注4}				
番組情報のデータ	保存				
字幕放送のデータ	保存				
副音声 ^{注5}	保存				
5.1チャンネル音声	保存				

Blu-ray Discに書き出すときの仕様

ハードディスクに録画したときの画質	DR	HX	HS	HL	HE
録画時に選択した画質のまま書き出し					
Blu-ray Discに書き出すときの画質	DR	HX	HS	HL	HE
ビットレート	地上デジタルHD : 約17Mbps 地上デジタルSD : 約8Mbps ^{注2} BSデジタルHD : 約24Mbps BSデジタルSD : 約11Mbps 110度CSデジタルHD : 約24Mbps 110度CSデジタルSD : 約11Mbps ^{注2}	約 8.7Mbps	約 4.5Mbps	約 2.2Mbps	約 1.6Mbps
画質	ハイビジョン (HD) ^{注3}				
1枚のディスクに記録可能な時間 ^{注6}	約2時間	約6時間	約11時間	約21時間	約30時間
1枚のディスクに記録可能な番組数	200番組				
フォーマット	BD-RE	BD-RE			
データ放送のデータ ^{注7}	設定に依存 ^{注4}				
番組情報のデータ ^{注7}	保存				
字幕放送のデータ	保存				
副音声 ^{注5}	保存				
5.1チャンネル音声	保存				

4. テレビ番組を録画する

DVDに書き出すときの仕様

ハードディスクに録画したときの画質	DR	HX	HS	HL	HE
-------------------	----	----	----	----	----



	画質変換して書き出す場合				録画画質そのまま書き出す場合 ^{注8}			
DVDに書き出すときの画質	XP	SP	LP	ぴったり ^{注9}	HX	HS	HL	HE
ビットレート	約8.9Mbps	約4.7Mbps	約2.4Mbps	約2~8Mbps	約8.7Mbps	約4.5Mbps	約2.2Mbps	約1.6Mbps
画質	標準 (SD)				ハイビジョン (HD) ^{注3}			
1枚のディスクに記録可能な時間 ^{注6}	約1時間	約2時間	約4時間	~約4時間	約1時間	約2時間	約4時間	約6時間
1枚のディスクに記録可能な番組数	99番組				200番組			
フォーマット	DVD-VR				AVCREC ^{注10}			
データ放送のデータ	削除*				削除*			
番組情報のデータ ^{注7}	削除*				保存			
字幕放送のデータ	削除*				保存			
副音声 ^{注5}	音声1のみ保存*				保存			
5.1チャンネル音声	2チャンネルに変換*				保存			

* : ディスクに書き出したときに、ハードディスク内の録画番組から変換や削除される項目

SeeQVault対応メディアに書き出すときの仕様

ハードディスクに録画したときの画質	DR	HX	HS	HL	HE
-------------------	----	----	----	----	----



	画質圧縮して書き出す場合	録画時の画質で書き出す場合
書き出し可能な画質	DR,HX,HS	DR,HX,HS,HL,HE
ビットレート	約2Mbps	ハードディスクに録画する場合と同じビットレート
画質	標準 (SD)	ハイビジョン (HD) ^{注3}
フォーマット	NTFS、FAT32 ^{注11} 、exFAT	
1つのメディアに記録可能な番組数	10000番組	
データ形式	H.264/MPEG-4 AVC (音声: AAC)	ハードディスクに録画する場合と同じデータ形式
データ放送のデータ	設定に依存 ^{注4}	
番組情報のデータ	保存	
字幕放送のデータ	保存	
副音声 ^{注5}	保存	
5.1チャンネル音声	保存	

- 注1：スポーツや音楽番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をHS、HL、HEで録画すると、ブロック状のノイズが出たり、映像がスムーズに再生されなかったりなどの現象が出る場合があります。
このような番組を録画する場合は、DRまたはHXで録画することをお勧めします。
- 注2：放送局によって異なります。
- 注3：放送が標準（SD）放送の場合は標準（SD）になります。
- 注4：「録画の設定を変更する」で「データ放送保存」を「ON」に設定する（→P.37）と、保存されます。
- 注5：音声多重放送や2ヶ国語放送などで、主音声以外に放送される音声です。
- 注6：Blu-ray Discについては、BD-R/BD-REでの録画時間、DVDについては、DVD-R/DVD-RW/DVD-RAMの片面ディスクの録画時間です。
- 注7：ディスク上にデータ放送、番組情報のデータが保存されていても、「WinDVD」では表示されません。
- 注8：録画画質と同じ画質で書き出す場合は、フォーマット形式をAVCRECにする必要があります。また、DRで録画した番組をそのままの画質で書き出すことはできません。
- 注9：ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。ビットレートや記録可能な時間は、書き出す番組の時間によって異なります。
- 注10：この形式でDVDに書き出すと、AVCREC形式に対応していないDVDプレーヤーでは再生できません。
- 注11：フォーマットがFAT32 の場合は、1 番組につき最大32GB まで書き出せます。

4. テレビ番組を録画する

■ 録画番組を保存するための容量の目安

1時間分の録画番組を保存するための容量の目安です。

□録画用ハードディスク、Blu-ray Disc、DVDの場合

() 内：配信用低画質ファイルありの場合の容量

録画時の画質	地上デジタル放送		BS・110度CSデジタル放送		録画番組の保存先
	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送	
DR	約7.7GB (約8.3GB)	約3.7GB (約4.3GB)	約10.9GB (約11.5GB)	約5.0GB (約5.6GB)	録画用ハードディスク Blu-ray Disc
HX	約4.1GB (約4.7GB) 注1				
HS	約2.2GB (約2.8GB)				録画用ハードディスク Blu-ray Disc DVD
HL	約1.2GB (約1.8GB)				
HE	約0.8GB (約1.4GB)				
XP	約3.8GB				DVD
SP	約2.0GB				
LP	約1.1GB				

容量は、1MB = 1000² bytes、1GB = 1000³ bytes換算値

注1：標準 (SD) 放送をHXで録画したとき、DRよりデータ容量が大きくなる場合があります。

□SeeQVault 対応メディアの場合 (録画時の画質で書き出す)

録画時の画質	地上デジタル放送		BS・110度CSデジタル放送	
	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送
DR	約7.5GB	約3.5GB	約10.5GB	約4.8GB
HX	約4.0GB 注1			
HS	約2.0GB			
HL	約1.1 GB			
HE	約0.8 GB			

□SeeQVault対応メディアの場合 (画質圧縮して書き出す)

録画時の画質	地上デジタル放送		BS・110度CSデジタル放送	
	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送	ハイビジョン (HD) 放送	標準 (SD) 放送
DR	約1.0GB 注1			
HX				
HS				

容量は、1MB = 1000² bytes、1GB = 1000³ bytes換算値

注1：標準 (SD) 放送をHXで録画したとき、DRよりデータ容量が大きくなる場合があります。

■ メディアに書き出すときの記録時間の目安

□DVDやBlu-ray Discなどの場合

1枚のディスクに記録できる時間の目安です。

書き出し時の画質	DVD-R/DVD-RW/ DVD-RAM ^{注1} (約4.7GB)	DVD-R DL (約8.5GB)	BD-R/BD-RE (約25GB)	BD-R DL/ BD-RE DL (約50GB)	BD-R XL/ BD-RE XL (約100GB)
DR	—	—	約2.3時間 ^{注2}	約4.6時間 ^{注2}	約9.2時間 ^{注2}
HX	約1.1時間	約2.1時間	約6.1時間	約12.2時間	約24.3時間
HS	約2.1時間	約3.8時間	約11.3時間	約22.5時間	約45.1時間
HL	約4.0時間	約7.2時間	約21.1時間	約42.2時間	約84.4時間
HE	約5.7時間	約10.3時間	約30.3時間	約60.6時間	約121.2時間
XP	約1.2時間	約2.2時間	—	—	—
SP	約2.4時間	約4.3時間	—	—	—
LP	約4.3時間	約7.7時間	—	—	—
ぴったり ^{注3}	約4時間	約7.5時間	—	—	—

容量は、1MB = 1000² bytes、1GB = 1000³ bytes換算値

注1：DVD-RAMの片面ディスクです。

注2：BSデジタルHDの番組を書き出した場合の目安です。

注3：ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。表内の時間は、1枚のディスクに最長何時間のテレビ番組を収めることができるかを示しています。なお、両面ディスクを使用した場合は、片面のみへの書き込みとなります。

- ・ディスクの空き容量によっては、ぴったり収まらない場合があります。
- ・1時間に満たないテレビ番組は、ディスクに空き容量ができる場合があります。

□SDカードの場合

1枚のSeeQVault対応SDカードに記録できる時間の目安です。

書き出し時の画質	SeeQVault対応SDカード (16GB)	SeeQVault対応SDカード (32GB)
DR	約1.5時間	約3.0時間
HX	約4.0時間	約8.0時間
HS	約8.0時間	約16.0時間
HL	約14.5時間	約29.0時間
HE	約21.3時間	約42.6時間
画質圧縮	約16.0時間	約32.0時間

容量は、1MB = 1000² bytes、1GB = 1000³ bytes換算値

注1：BSデジタルHDの番組を書き出した場合の目安です。

テレビ番組を録画するときの注意

ここでは、テレビを録画するときの注意していただきたいことを説明します。

■ 録画全般について

録画するときはこんなことに気を付けてください







- 録画中は、パソコンの電源ボタンを押さないでください。
録画中にパソコンの電源ボタンを押すと、録画に失敗したり、故障の原因となったりする場合があります。また、電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、録画予約の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画に失敗することがあります。強制終了した場合は再度電源を入れ、パソコンの電源ボタンを押してWindowsを終了してください。
- 録画中は、シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください。録画に失敗したり、故障の原因となったりする場合があります。
- 録画中は、ウイルススキャンを行わないでください。
テレビの録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われなくなることがあります。予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないようご注意ください。
- 周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中のときは、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。録画に失敗する原因となります。
- 録画中は、「WinDVD」を起動しないでください。
録画中に動画再生アプリを起動すると、録画番組にコマ落ちが発生するなどの影響があります。
- 視聴中の別番組録画について
一方のテレビチューナーでテレビを視聴しているときでも、もう一方のテレビチューナーで別の番組を録画できます。

外付けハードディスクをお使いになる場合

外付けハードディスクの使用については、「外付けハードディスクを使う」(→P.38)をご覧ください。

■ 予約録画について

予約録画をする前に確認してください



- 通知領域にある  をクリックし、 を右クリックして表示されるメニューから「終了する」をクリックした場合は、「DigitalTVbox」が完全に終了するため、予約録画されません。
 を押すか、「メニュー」▶「待機モードへ」または、通知領域にあるアイコンから「待機モードへ」をクリックし、「DigitalTVbox」が待機状態の場合は、予約録画が行われます。
- BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を予約録画するときは、「アンテナ電源の供給(BS・110度CSデジタル放送)」(→P.33) をご覧になり、アンテナに電源を供給する接続や設定になっているか、確認してください。
放送中の番組を視聴、録画するときだけではなく、予約録画するときも、アンテナ電源の供給が必要です。
- 次の場合、予約録画が設定どおりに正しく動作しない場合があります。
 - 予約録画が始まる時間の直前に電源を切ったとき(Windowsの終了やパソコンの電源を切る場合は、録画予約時刻の15分前には行うようにしてください)。
 - スリープや休止状態になったとき。
 - コンピューターがスリープになるまでの時間を変更しているとき。
- 予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。変更すると、録画に失敗することがあります。
ご購入時の設定から変更している場合は、次の手順で設定を戻してください。
 1.  を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックします。
 4. 「バランス(推奨)」の  をクリックして  にしてから、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、「このプランの既定の設定を復元」をクリックします。
- 2つ以上の予約録画が連続している場合、前に予約しているテレビ番組の、最後の約1分間が録画されません。
- 「DigitalTVbox」はユーザーアカウントが「管理者」、または「標準ユーザー」となっているユーザーでのみ予約録画できます。
「Guest」でサインインした場合、「DigitalTVbox」が起動しないため予約録画できません。
- B-CASカードがパソコン本体にセットされていることを確認してください。
B-CASカードがセットされていないと、予約録画できません。
- アンテナケーブルを取り外したままにしないでください。
予約録画が失敗する原因となります。予約録画を設定した後に、アンテナケーブルを取り外してパソコン本体をお使いになった場合、予約録画開始前にはパソコン本体にアンテナケーブルを接続してください。
- 番組が延長された場合や、番組時間が変更された場合は、ハードディスクの空き容量が足りなくなり、予約録画が中断されることがあります。

Windowsのサインインパスワードを設定している場合の注意

次の場合にパスワードを入力する設定になっていると、予約録画が実行されません。

- スリープや休止状態から復帰するとき
- スクリーンセーバーを解除するとき

これらの状態から予約録画をするときは、次のように設定してください。

1.  を右クリックします。
2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」をクリックし、ウィンドウ左の「スリープ解除時のパスワード保護」の順にクリックします。
4. 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」ウィンドウで「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。
5. 「パスワードを必要としない」の をクリックして にします。
6. 「変更の保存」をクリックします。
7.  をクリックします。
8. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
9. ウィンドウ左の「ロック画面」をクリックします。
10. 「スクリーンセーバー」の をクリックします。
11. 「再開時にログオン画面に戻る」の をクリックして にします。
12. 「OK」をクリックします。

Windowsを終了した状態や電源を切った状態から予約録画をするときの注意

- このパソコンでは録画予約をしておけば、Windowsを終了したりパソコンの電源を切ったりしても、自動的に起動して録画を開始することができます（「PowerUtility-スケジュール機能」）。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」を削除すると、録画予約時刻に自動的にWindowsをスタートしたり、録画終了後に電源を自動的に切ったりすることができなくなりますのでご注意ください。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」はBIOSセットアップの「時刻による電源オン」を使用しています。「PowerUtility-スケジュール機能」を起動した後、録画のスケジュールが設定されていない場合には、Windowsの起動時にBIOSセットアップの設定が自動的に変更され、「使用しない」に設定されます（BIOSで電源オン時刻を設定しても無効になります）。



自動サインインするアカウントについて

- Windowsを終了またはパソコンの電源を切った状態から予約録画が開始される場合、パソコンをセットアップしたときのユーザーアカウント、または「Windowsにサインインするアカウントを変更する」（→P.47）の手順で設定したユーザーアカウントが使われます。

Windowsにサインインするアカウントを変更する

予約録画時にサインインするユーザーアカウントは、次の手順で変更できます。

Point

- 「Guest」でサインインした場合、予約録画できません。
 1. 予約録画時にサインインしたいユーザーでWindowsにサインインします。
 2.  ▶  (すべてのアプリ) ▶ 「FUJITSU - PowerUtility」▶ 「PowerUtility - スケジュール機能」の順にクリックします。
「現在サインイン中のアカウントのパスワードを入力してください」とメッセージが表示されたときは、パスワードを入力して「OK」をクリックします。
 3. 「電源オフからのTV予約録画 (DigitalTVbox)」を選択して「変更」をクリックします。





4. 「アクション “電源オフからのTV予約録画 (DigitalTVbox)” の変更」画面で「OK」をクリックします。



4. テレビ番組を録画する

Windowsのサインインパスワードを設定・変更したときは

Windowsのサインインパスワードを設定・変更したときは、「PowerUtility-スケジュール機能」にも、パスワードを設定してください。設定の手順は、次の通りです。

1.  ▶  (すべてのアプリ) ▶ 「FUJITSU - PowerUtility」▶ 「PowerUtility - スケジュール機能」の順にクリックします。
2. パスワードの設定画面で、パスワードを入力し「OK」をクリックします。

Point

- 「パスワードの設定」画面が表示されない場合は、すでに正しいパスワードが登録されています。

■ 録画したデジタル放送番組に関する注意


- ハードディスクにある録画番組は、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません。録画したパソコンでのみ再生可能です。
- 液晶ディスプレイへの再生表示は、ハイビジョン表示にならない場合があります。ハイビジョン映像は解像度変換せずに録画されますが、映像出力時に液晶ディスプレイの解像度に変換される場合があります。

テレビ番組を録画する


ここでは、見ている番組の録画方法と、予約して録画をする方法について説明します。


見ている番組を録画する

現在見ているテレビ番組を録画したいときは、次の操作ですぐに録画を開始できます。



1 テレビ番組を視聴中に  を押します。

録画が開始されます。

 を2回押すと「この番組終了まで」、3回押すと「次の番組終了まで」、それぞれ録画終了タイマーが設定されます。

2 録画を停止するときは、録画している番組を表示中に  を押します。

マウス操作

- マウスで操作するときは、操作パネル上の  /  をクリックして録画を開始・終了します。

録画予約する

番組表から録画予約することができます。

1 **番組表** を押します。

2 **<◇>** で予約したい番組を選択し、**決定** を押します。



番組の検索方法など、番組表の使い方については、「番組表を使う」(→P.26)をご覧ください。

3 「詳細／予約」画面で、**録画** を押します。

予約が完了すると、番組表上に **🕒** が表示されます。
必要に応じて、「画質」や「くりかえし」の設定を変更します。

くりかえし：定期的な予約録画を行う場合に録画頻度を変更します。



録画予約を変更する

1. **予約一覧** を押します。
2. **<◇>** で変更したい番組を選択し、**黄** を押します。
3. **青** や **緑** を押し、**<◇>** で各種設定を変更します。
4. 設定変更が完了したら、**赤** を押します。

録画予約を取り消す

1. **予約一覧** を押します。
2. **<◇>** で変更したい番組を選択します。
3. **0** を押します。
4. **<◇>** で「はい」を選択し、**決定** を押します。

Point カスタム予約する

- チャンネルと時間を指定して予約をすることで、番組表に表示されていない番組の録画予約ができます。
 1. **番組表** を押します。
 2. **メニュー** を押し、「カスタム予約」を選択し、**決定** を押します。
 3. 録画の条件を指定します。



4. 設定変更が完了したら、**赤** を押します。
- 同じチャンネルで（18:00～18:30と18:30～19:00のように）連続した2つの番組をカスタム予約すると、録画した番組に「中断」と表示されることがあります。連続した番組をカスタム予約する場合は、1つの予約として登録することをお勧めします。

Point パソコンの時刻合わせ

- パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。時刻を合わせるときは、次の手順で設定を行ってください。
 1. **設定** を右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「時計、言語、および地域」▶「日付と時刻の設定」▶「日付と時刻の変更」の順にクリックし、設定を行ってください。

録画した番組を再生する

ここでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を再生する操作について説明します。

■ 録画番組を再生するときの注意

著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。

万一録画番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 録画番組を再生する

1

 を押します。

2

録画番組の一覧が表示されたら、<◇> で見たい番組を選択し  を押します。







番組の再生が始まります。

3

番組の再生を終える場合は、 を押します。

■ 再生中の操作



録画番組の再生中は、リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
再生を停止する	
一時停止する	
早送りする	
巻き戻す	
次のチャプターの区切りへスキップする <small>注</small>	
前のチャプターの区切りへ戻る <small>注</small>	

注：スキップボタンの機能を、指定した秒数だけ移動する「秒数スキップ」に変更することもできます。

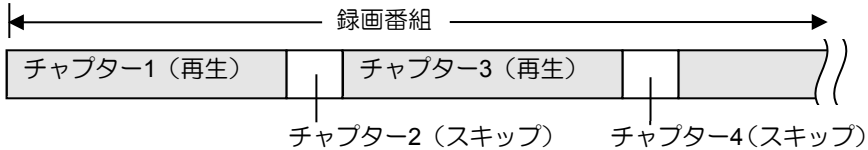
「メニュー」▶「設定」▶「録画／再生設定」▶「再生」の順にクリックして表示される設定画面で変更します。

ゆったり再生

- 再生中に  を押すと、再生速度が0.8倍となり「ゆったり再生」になります。
再度  を押すと、通常の速度に戻ります。

■ 見たいところだけ再生する（スキップ再生）

録画した番組は自動的にシーンの解析が行われ、チャプターとして分割されます。このパソコンでは録画番組の再生時に、見たいチャプター部分のみ再生することができます。



重要

- 番組によっては、正しく本編部分を検出できない場合があります。

1

録画番組 を押します。

2

録画番組の一覧が表示されたら、<◇> で見たい番組を選択し **順スキップ** を押します。
スキップ再生が始まります。

■ スポーツ番組をダイジェストで見る（ダイジェスト再生）

スポーツ番組を録画すると、番組の音声などを検知して、盛り上がった部分をダイジェストで見ることができます。

重要

- 番組によっては、正しく本編部分を検出できない場合があります。
- ダイジェスト再生ができるのは、ジャンルが「スポーツ」の番組のみです。

1

録画番組 を押します。

2

録画番組の一覧が表示されたら、<◇> で見たい番組を選択し **黄** を押します。
録画番組の「詳細」画面が表示されます。

3

逆スキップ を押します。

ダイジェスト再生が始まります。

録画した番組のチャプターを編集する

録画した番組の、再生／スキップする部分を設定したり、チャプターを分割／結合したりできます。

1 **録画番組** を押します。

2 録画番組の一覧が表示されたら、**<◇>** でチャプターを編集したい番組を選択し、**一時停止** を押します。

3 マウス操作に切り替わるというメッセージが表示されたら、**<◇>** で「はい」を選択し、**決定** を押します。

番組の「編集」画面が表示されます。この後はマウスを使って操作してください。



<p>1 シークバー 緑色の部分が再生、グレーの部分がスキップを表します。クリックすると、チャプターを選択できます。</p>	<p>4 プレビュー開始 設定した状態で再生を開始します。</p>
<p>2 オートチャプター 自動的にチャプター分割します。 ※番組によっては、正しく本編部分を検出できない場合があります。</p>	<p>5 チャプターリスト チャプターの一覧が表示されます。クリックして表示される <input type="radio"/> を <input checked="" type="radio"/> にすることで、再生／スキップを設定できます。</p>
<p>3 チャプターを分割／前のチャプターと結合 カーソルの位置でチャプターを分割します。また、チャプターを選択している場合は、前のチャプターと結合します。</p>	<p>6 カーソル チャプターを分割する位置を移動します。</p> <p>7 シークバー表示 シークバーの表示方法を選べます。</p>




4 編集が終わったら、「保存して閉じる」をクリックし、「はい」をクリックします。

Point ディスクへの書き出しについて

- 録画番組をDVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き出すときに、「スキップ」に設定した部分を残したまま書き出すか、削除して書き出すか選ぶことができます。詳しくは、「録画した番組を書き出す」(→P.59)をご覧ください。

録画した番組をネットワーク経由で再生する

このパソコンでは、ネットワークを経由して、他の機器で録画番組を再生できます。詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。

-    (すべてのアプリ) ▶ 「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

録画した番組をメディアに書き出す

このパソコンでは、ハードディスクに録画した番組をDVDやBlu-ray Discなどのディスク、または、SeeQVault対応メディアに書き出すことができます。

■ 対応メディア

DVD : CPRM対応の、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAM


Blu-ray Disc : BD-R、BD-R DL、BD-R XL、BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL

SeeQVault : microSDHCカード (SeeQVault対応)、
対応メディア 外付けUSB ハードディスク (SeeQVault対応)

Point SeeQVaultについて

SeeQVaultとは、SeeQVault対応SDカードやSeeQVault対応ハードディスクに記録されたHDコンテンツを、さまざまなSeeQVaultに対応した機器で再生できるようにする技術です。SeeQVault対応メディアに録画番組を書き出すことで、本パソコン以外のSeeQVault対応機器での再生が可能になります。また、他のSeeQVault対応機器で録画した番組を本パソコンで再生することもできます。

- DVDに書き出したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーで再生できます。
- Blu-ray Discに書き出したテレビ番組は、「WinDVD」またはBlu-ray Discに対応したBlu-rayプレーヤーで再生できます。
- SeeQVault対応メディアに書き出したテレビ番組は、「CyberLink SeeQVault Player」またはSeeQVaultに対応した他のプレーヤーや機器で再生できます。(ただし、SeeQVault対応のすべてのプレーヤーや機器において動作を保証するものではありません。)

DVDやBlu-ray Discなどの推奨ディスクについては、『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」-「光学ドライブ」をご覧ください。

1枚のディスクに、何時間分の番組を記録できるかについては、「録画の設定を変更する」の「メディアに書き出すときの記録時間の目安」（→P.43）をご覧ください。

■ 書き出しの特徴

ダビングと移動（ムーブ）

メディアに書き出す方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

ダビング：ハードディスクに録画番組を残したまま、メディアに録画番組をコピー（バックアップ）する機能

ムーブ：録画番組をメディアに書き出した後、ハードディスクから録画番組を削除する機能

コピー制御信号について

デジタル放送の番組には、著作権保護を目的とした、コピー回数を制御するための信号が含まれています。

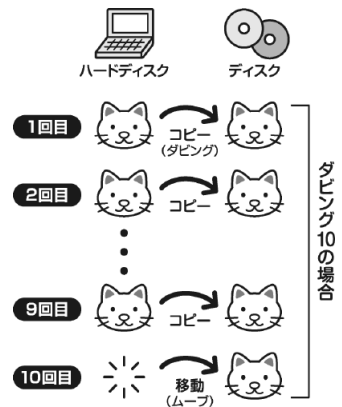
メディアへのダビングができる回数は、このコピー制御信号の種類によって異なります。この信号には、「コピーネバー」「コピーフリー」「コピーワンス」「ダビング10」の4種類があります。

コピーネバー：ハードディスクへの録画、およびメディアへの書き出しができない信号です。

コピーフリー：ハードディスクに録画した後、その録画番組をメディアに何回でも書き出すことができる信号です。

コピーワンス：ハードディスクに録画を行った時点で、1回コピーを行ったとみなされる信号です。そのため、メディアに録画番組を書き出したい場合は、移動（ムーブ）することになります。移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画番組は自動的に削除されます。

ダビング10：ハードディスクに録画番組を残したまま、最大9回までデータをメディアにコピーできます。10回目にデータをメディアに書き出すと、データがハードディスクから移動（ムーブ）して削除されます。



録画した番組を書き出すときの注意

重要 AACスキーを更新してお使いください


- Blu-ray Discへ録画番組を書き出す場合、および画質変換を行わない（AVCREC形式）でDVDに書き出す場合は、AACス（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって、データが暗号化されます。暗号化される際には、「AACスキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACスキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法については、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

<http://www.fmworld.net/aacs/>

- 録画番組をダビング中や移動（ムーブ）中に、停電などによる電源断など不慮の事故や強制シャットダウンによってパソコン本体が停止したり、記録しているディスクの傷や汚れによって書き込みが中断したりした場合、ダビングや移動（ムーブ）を実行していた録画番組はハードディスクから一部、またはすべてが削除されることがあります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを再生できなくなることがありますのでご注意ください。
- 移動（ムーブ）の途中でキャンセルした場合、その時点までのデータがDVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き込まれ、それ以降のデータはハードディスクから削除されます。「ダビング10」信号が含まれた録画番組をダビングの途中でキャンセルした場合は、その時点までのデータがDVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が1回減ります。なお、SeeQVault対応メディアに書き込む場合は、移動（ムーブ）の途中でキャンセルしてもダビング可能回数は減りません。
- 大切な録画番組をメディアに書き出す前に、テスト用の録画番組をメディアに書き出し、お手持ちの機器で再生可能かご確認ください。
- ハードディスクに録画したときの画質や書き出すメディアにより、保存されるデータや、メディアのフォーマット形式が異なりますので、注意してください。詳しくは、「録画の設定を変更する」（→P.36）をご覧ください。
- 録画番組を書き出すメディアにデータが入っている場合、メディアのフォーマットを行うと録画番組のデータが削除されます。データを削除したくない場合は、フォーマットをせずに追記するか、新しいメディアを用意してください。
- デジタルテレビ放送の放送波の受信状況が悪い状態で録画した番組を再生すると、映像のコマ落ちや乱れが発生する場合があります。
このような録画番組をBlu-ray Discへムーブやダビングを行った場合、またはAVCRECフォーマットでDVDへムーブやダビングを行った場合、WinDVDで正常に再生できないことがありますのでご注意ください。なお、これは受信した放送波が正しくないことが原因で起こる問題で、本パソコンの故障ではありません。そのままお使いください。
- SeeQVault対応メディアに書き出す場合、NSMキーをダウンロードするためにインターネット接続が必要になります。
- 他のSeeQVault対応機器で使用したSeeQVault対応メディアがDigitalTVboxで認識できない場合、SeeQVault対応メディアを書き出し可能なフォーマット（→P.40）にする必要があります。なお、フォーマットすると、SeeQVault対応メディア内のすべてのデータが削除されますのでご注意ください。フォーマット方法については、SeeQVault対応メディアの取扱説明書をご確認頂くか、Windowsの機能でフォーマットしてください。

4. テレビ番組を録画する

- DVD-RAMに録画番組のデータを追記する場合、メディアに録画番組以外のデータが入っていると、追記ができません。メディアに入っているデータが録画番組だけの場合には追記が可能です。
- メディアの書き出し中は、録画番組の視聴はできません。
- メディアの書き出し中は、他のアプリを起動または操作しないでください。
- 状況によってメディアへの書き出しは、録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。
- メディアの書き出しはリモコンで操作できません。マウスを使って操作してください。

 『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」―「光学ドライブ」にも、DVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き込みをするときに注意していただきたいことを説明しています。あわせてご覧ください。

4. テレビ番組を録画する

6 「メディアを確認しました。[次へ]をクリックしてください。」というメッセージが表示されたら、「次へ」をクリックします。



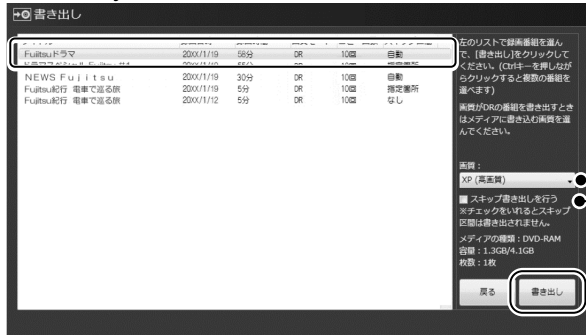
DVDの場合、書き出し時のフォーマット形式を選択します。録画面質と同じ画質で書き出す場合は「AVCREC」を選択してください。

Point

- 「フォーマット」で「する」を選択した場合、お使いのメディアによって削除されるデータが異なります。DVD/Blu-ray Discの場合は、すべてのデータが削除されます。
- SeeQVault対応メディアの場合、DigitalTVboxで書き出したすべての録画番組のデータが削除されますが、それ以外のデータは削除されません。

7 メディアに書き出したい録画番組を選択し、「書き出し」をクリックします。

■DVD/Blu-ray Disc の場合



DVDに書き出す場合は、画質を選択します。

チェックを入れると、スキップに設定したチャプターを除いて書き出しを行います。

■SeeQVault 対応メディアの場合



SeeQVault対応メディアの場合、画質を選択します。なお、画質圧縮を選択した場合、録画時の画質を選択した場合よりも完了までに時間がかかります。

[Ctrl] を押しながらかlickすると、複数の番組を選択できます。ただし、DVDに書き出す場合、記録モードが「DR」の番組は画質の異なる番組と同時に書き出しをすることができません。



- 「スキップ書き出し」を行う場合、書き出したい部分が「再生」の設定になっているか、あらかじめ「編集」画面で確認しておくことをお勧めします。詳しくは、「録画した番組のチャプターを編集する」(→P.54)をご覧ください。
- 項目名をクリックすると、録画番組をソートできます。

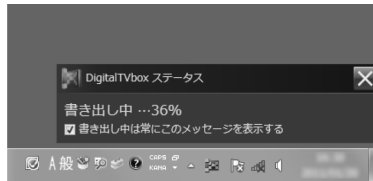
録画日時	録画時間	画質モード	コピー回数
------	------	-------	-------

- 記録モードが「HL」「HE」の番組を画質圧縮して書き出すことはできません。

8 「書き出しを実行すると、ダビング10または…」というメッセージが表示されたら内容を を確認し、続行する場合は「はい」をクリックします。

書き出しが開始されます。

書き出し作業の進行状況は、デスクトップ画面右下に表示されます。



書き出しが終了したら、**✕** をクリックして完了画面を閉じます。


書き出した番組を再生する

DVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き出したテレビ番組を再生するには、添付のアプリ「WinDVD」が必要です。「Windows Media Player」やその他の市販のソフトウェアでは、Blu-ray Discは再生できません。

「WinDVD」については、各アプリのマニュアルをご覧ください。

また、SeeQVault対応メディアに書き出した番組を再生するには、添付のアプリ「CyberLink SeeQVault Player」など、SeeQVault対応の再生アプリが必要です。

■ メディアを再生するときの注意

- 書き出したテレビ番組に、データ放送、番組情報のデータが含まれていても、「WinDVD」では表示されません。
- お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
- メディアを再生する前に、他のアプリを終了させてください。また、再生中は他のアプリの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPUやハードディスクに負荷がかかるため、メディアが正しく再生されない原因となります。
- メディアの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
アプリを更新するには、アップデートプログラムを実行してください。アップデートプログラムの実行方法については、『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」—「光学ドライブ」—「ディスクを再生するうえでの注意」—「■「WinDVD」の更新をする」をご覧ください。
- テレビ番組を録画している間は、メディアを再生しないでください。メディアの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
メディアの再生は、録画予約が設定されていない時間帯に行ってください。メディアの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、メディアの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。

- SeeQVault対応メディアに書き出した録画番組をハードディスクレコーダーなどの再生機器で視聴する場合、再生機器がSeeQVault対応メディアと同じフォーマットをサポートしている必要があります。詳しくは、お使いの再生機器の取扱説明書をご確認ください。
- SeeQVault対応メディアに書き出した録画番組をハードディスクレコーダーなどの再生機器で視聴する場合、再生機器がSeeQVault対応メディアと同じフォーマットをサポートしている必要があります。詳しくは、お使いの再生機器の取扱説明書をご確認ください。
- SeeQVault対応SDカードに書き出した番組を本パソコン以外の装置で再生するとき、SeeQVault対応のSDカードリーダーが必要な場合があります。詳しくは、再生機器、またはSeeQVault対応のSDカードリーダーの取扱説明書や対応機器をご確認ください。
- パソコンのAACSCキーを更新してお使いください。
Blu-ray Disc内の録画番組、および画質変換しない（AVCREC形式）でDVDに録画した番組は、AACSC（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって暗号化されています。暗号化された録画番組を再生するときには、「AACSCキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACSCキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新方法については、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

<http://www.fmworld.net/aacs/>



■ DVDやBlu-ray Discなどのディスクに書き出した録画番組の再生

1 ディスクをパソコン本体にセットします。

2 リモコンの  を押して、「WinDVD」でディスクを再生します。

■ SeeQVault対応メディアに書き出した録画番組の再生

1 メディアをパソコン本体にセットします。

2 次の手順で「CyberLink SeeQVault Player」を起動して録画番組を再生します。
 ▶ （すべてのアプリ）▶ 「CyberLink SeeQVault Player 12」▶ 「CyberLink SeeQVault Player」の順にクリックします。



「CyberLink SeeQVault Player」については、アプリ提供元のサイバーリンク株式会社にお問い合わせください。

サイバーリンク株式会社 サイバーリンクカスタマーサポート

電話：0570-080-110（ナビダイヤル）、03-5205-7670（PHS・一部のIP電話から）

受付時間：10:00～13:00、14:00～17:00（土・日・祝日・特別休業日を除く）

URL：<http://jp.cyberlink.com/support/index.html>

お問合せ専用 Web フォーム：<http://jp.cyberlink.com/prog/support/cs/contact-support.jsp>

5 困ったときのQ&A

本章では、画面表示や音声などでトラブルが発生した場合の原因と対処法について説明します。

画面がおかしい

ここでは、画面の表示や映像の状態に関するトラブルをまとめています。

番組によって映像の周りに黒い部分がある



アナログ標準放送用カメラやアナログハイビジョン放送用カメラで作成された番組の場合、映像の周囲に黒い部分が表示されることがあります。

これはパソコンの故障ではありませんので、そのままお使いください。

画面が表示されない

画面の解像度が横1024ドット以上、かつ縦660ドット以上の設定でない場合、「DigitalTVbox」は起動しません。

また、パソコンの電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。

原因	対処
電源ケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	電源ケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、  『取扱説明書<スタートガイド>』の「セットアップする」—「パソコンの準備をする」—「電源に接続する」をご覧ください。
電源が入っていない	電源を入れてください。詳しくは、  『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」—「Windowsをスタートする/終了する」をご覧ください。
「おやすみディスプレイ」機能を使用している（「おやすみディスプレイ」搭載機種のみ）	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。
「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている	

DVDやBlu-ray Discが再生できない、画像が乱れる

原因	対処
ディスクが裏返しになっている	ディスクの表裏を確認してください。
ディスクが汚れている	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。
ディスクに傷がある、またはディスクが反っている	傷ついたディスクや反ったディスクは使用できません。他のディスクをお使いください。
ファイナライズされていない	書き込みに使う機器やアプリの種類によって、互換性に違いがあります。VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使った機器やアプリのマニュアルなどをご確認ください。
Blu-ray Discを「WinDVD」以外のアプリで再生しようとした	Blu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」をご覧ください。

地上デジタル放送が映らない

原因	対処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」(→P.16)をご覧ください。
お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、一般社団法人デジタル放送推進協会のホームページ (http://www.dpa.or.jp/) (2016年3月現在) をご覧ください。 なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさげられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。
地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 詳しくは、「受信環境の確認」(→P.2) をご覧ください。
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。 詳しくは、「miniB-CASカードをセットする」(→P.15) をご覧ください。
ケーブルテレビの伝送方式が対応していない	ケーブルテレビで地上デジタル放送をご利用になる場合、ケーブルテレビ会社によりデータの伝送方式が異なります。このパソコンが対応している伝送方式は、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式です。伝送方式をご契約のケーブルテレビ会社にご確認ください。

5. 困ったときのQ&A

原因	対処
チャンネル設定が地域と合っていない	地上デジタル放送で地域を設定するとき、実際にお住まいの地域とは別の場所を設定したほうが良い場合があります。選択可能な地域の中からお近くの地域を試しに設定し、放送局とチャンネルが普段ご利用の状況に最も適合するものを選択してください。 地域の設定は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「テレビ設定」▶「地域／チャンネルスキャン」の順に選択してください。

地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない

原因	対処
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「DigitalTVbox」の初回設定をする際の「受信レベルの確認」（→P.22）をご覧ください。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

原因	対処
UHFアンテナの向きが違う	デジタル放送の送信塔の方向を確認し、アンテナの向きを変えてください。詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「DigitalTVbox」の初回設定をする際の「受信レベルの確認」（→P.22）をご覧ください。
アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルが、しっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
他のアプリが動作している	次の例のように、他のアプリの動作状況に影響される場合があります。 ・セキュリティ対策アプリがウイルススキャンを行っているとき ・他のアプリの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送が映らない

原因	対処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」（→P.16）をご覧ください。
BS・110度CSデジタル放送用アンテナを使用していない	BS・110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタル放送用アンテナや、ブースター、ケーブルなどが必要です。 詳しくは、「テレビを準備する」（→P.12）をご覧ください。
アンテナ電源が供給されていない	BS・110度CSデジタル放送用アンテナを個人で設置している環境の場合、アンテナにアンテナ電源を供給する必要があります。アンテナ電源については、「アンテナ電源の供給（BS・110度CSデジタル放送）」（→P.33）をご覧ください。

原因	対処
有料放送の申し込みをしていない	有料放送の番組を見るには、別途申し込みをする必要があります。詳しくは、各放送局にお問い合わせください。
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、BS・110度CSデジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、「miniB-CASカードをセットする」(→P.15)をご覧ください。
他のアプリが動作している	次の例のように、他のアプリの動作状況に影響される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策アプリがウイルススキャンを行っているとき ・他のアプリの起動・終了時





BS・110度CSデジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

原因	対処
雨、強風などの悪天候により、アンテナが揺れたり、電波が弱くなったりしている	BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などの悪天候により、衛星からの電波が弱くなることがあります。天候の回復を待ってください。また、このとき録画した番組は、正常に再生できないことがあります。
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながらアンテナの向きを調整してください。アンテナの受信レベルの確認方法については、「「DigitalTVbox」の初回設定をする」の「受信レベルの確認」(→P.22)をご覧ください。アンテナを調整しても受信レベルが改善されない場合は、アンテナ工事業者やお近くの電気店にご相談ください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	(対処1) 分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。 (対処2) アンテナケーブルをパソコン本体に直接接続してください。

「このPCを初期状態に戻す」または「リカバリUSBメモリによるリカバリ（別売）」を行った後、録画番組が表示されない

「このPCを初期状態に戻す」を使ってご購入時に近い状態に状態を復元したり、「リカバリUSBメモリ（別売）」を使ってパソコンをご購入時の状態に戻したりすると、「システムリカバリーによって録画情報が消去された可能性があります。」というメッセージが表示される場合があります。このような場合は、「はい」を選択し、「録画情報管理ツール」を起動してください。

詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。

1.    (すべてのアプリ)  「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

音が聞こえない／変な音が聞こえる

ここでは、音声の状態に関するトラブルをまとめています。

スピーカーから音が聞こえない

原因	対処
音量が小さすぎる	リモコンの音量ボタンで音量を調節してください。
パソコン本体にヘッドホンが接続されている	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。
USBオーディオ経由で音声を出力している	「DigitalTVbox」は、USBオーディオへの音声出力は対応していません。パソコン本体のスピーカーや、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子などに接続したスピーカーを使用してください。
音声出力をAACに設定している	「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「視聴設定」▶「音声出力」の順に選択し、「音声出力形式」を「AAC」にしている場合、パソコン本体のスピーカーからは音声が出力されません。

雑音が聞こえる

原因	対処
パソコンの近くで電波を発生する装置(携帯電話、PHSなど)を使用している	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用を中止してください。
受信できないチャンネルを選択した	他のチャンネルを選択してください。チャンネルの選択方法については「リモコンで操作する」(→P.23)をご覧ください。








操作ができない

ここでは、リモコン、予約録画、双方向サービス、スリープや休止状態に関するトラブルをまとめます。

テレビ(テレビアプリボタン) を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わらない





原因	対処
Windowsのサインインパスワードを設定している	<p>Windowsのサインインパスワードを設定しているときは、次の(対処1)(対処2)を行ってください。</p> <p>(対処1) 自動サインインを設定していないと、次の場合にテレビ(テレビアプリボタン)を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windowsを終了した状態や電源を切った状態から起動するとき <p>この場合は、次の手順で自動サインインを設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タスクバーの「検索ボックス」に「netplwiz」と入力し、Enterを押します。 2. 「このコンピューターのユーザー」の中から、自動サインインにしたいユーザーアカウントをクリックします。 3. 「ユーザーがこのコンピューターを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」のチェックを外し、「適用」をクリックします。 4. 選択したユーザーアカウントのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。 <p>(対処2) Windowsのサインインパスワードを入力する設定になっていると、次の場合にテレビ(テレビアプリボタン)を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スリープや休止状態から復帰するとき • スクリーンセーバーを解除するとき <p>この場合は、「Windowsのサインインパスワードを設定している場合の注意」(→P.46)をご覧ください。</p>
Windows Updateのインストールが行われている	Windows Updateのインストールが必要な場合は、 テレビ (テレビアプリボタン)を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わらない場合があります。
「DigitalTVbox」を完全に終了している	<p>「DigitalTVbox」を完全に終了した後にパソコンを次の状態にすると、テレビ(テレビアプリボタン)を押しても「DigitalTVbox」へ切り替わらない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スリープにする • 休止状態にする • Windowsを終了する • パソコンの電源を切る <p>このような場合は「DigitalTVbox」を完全に終了せずに、待機モードにしてください(→P.24)。</p>

リモコンで操作ができない

原因	対処
リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください。 詳しくは、「リモコンに乾電池を入れる」(→P.18)をご覧ください。
リモコンの電池の使用推奨期限が過ぎている	電池には使用推奨期限が表記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。
リモコンの電池が正しい向きに入っていない	電池の極性(+)を正しい向きにして入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 詳しくは、「リモコンに乾電池を入れる」(→P.18)をご覧ください。
電源ケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	電源ケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、  『取扱説明書<スタートガイド>』の「セットアップする」→「パソコンの準備をする」をご覧ください。
リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている	パソコンの向き、設置場所を変えてください。
リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない	リモコン受光部の使用可能範囲内で、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。詳しくは、「パソコン本体のリモコン受光範囲」(→P.9)をご覧ください。
リモコンの信号をパソコンが正しく受信していない	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあつたりすると、リモコンは正しく動作しません。詳しくは、「リモコンを準備する」(→P.18)に記載されている注意事項をご覧ください。
リモコンマネージャーが起動していない	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。通知領域にある  (隠れているインジケータを表示します) をクリックし、  が表示されているか確認してください。表示されていない場合は、次の手順で「リモコンマネージャー」を起動してください。 1.  ▶  (すべてのアプリ) ▶ 「FUJITSU-リモコンマネージャー」▶ 「リモコンマネージャー」の順にクリックします。通知領域に  が表示されたことを確認してください。
リモコンマネージャーがインストールされていない	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 詳しくは、  『取扱説明書<活用ガイド>』の「アプリ」をご覧ください。

録画できない

「キャプチャボードに保存できる録画番組数の上限を超えるため、録画を中止しました。不要な番組を削除してください。」というメッセージが表示されて番組の録画ができない場合は、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	対処
録画した番組がある状態で、全ドライブをご購入時の状態に戻すリカバリを行った	次の手順で録画情報削除を行ってください。 1.  ▶  (すべてのアプリ) ▶ 「PIXELA」▶ 「録画情報管理ツール」をクリックします。 詳しくは、次の手順で表示される「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。 1.  ▶  (すべてのアプリ) ▶ 「PIXELA」の「DigitalTVbox取扱説明書」の順にクリックします。

予約録画に失敗する








次のような原因が考えられます。ご確認ください。「録画番組」画面で番組を選択し、「詳細」画面に表示される「録画結果」もあわせてご確認ください。

「録画した番組を再生する」(→P.52)



原因	対処
予約番組の前に放送されていた番組が延長され、番組の開始時刻が遅れたために、次の予約が優先された	「録画結果」に「別の予約を優先したため録画を【中止／中断】しました。」または「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」と表示されます。予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
スポーツ中継の延長や、雨天などにより、予約番組の放送が中止された	「録画結果」に「別の予約を優先したため録画を【中止／中断】しました。」または「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」と表示されます。予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
パソコンを強制終了したために、「PowerUtility」が予約時刻に起動していない	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、予約録画の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画されません。強制終了した場合は、再度電源を入れ、パソコンの電源ボタンを押してWindowsを終了してください。



5. 困ったときの Q&A

原因	対処
通知領域の  を右クリックして、「終了する」をクリックした	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。通知領域にある  をクリックし、  を右クリックして表示されるメニューから「終了する」をクリックした場合は、「DigitalTVbox」が完全に終了するため、予約録画されません。予約録画を行う場合は、  を押すか、「メニュー」▶「待機モードへ」もしくは、通知領域にあるアイコンから「待機モードへ」をクリックし、「DigitalTVbox」を待機状態にしてください。
自動サインインが有効になっていない	Windowsを終了した状態や、電源を切った状態から予約録画をする場合は、自動サインインを設定しておく必要があります。詳しくは、「Windowsを終了した状態や電源を切った状態から予約録画をするときの注意」(→P.46)をご覧ください。
予約時刻にWindows Updateが行われた	テレビ番組の録画中に、Windows Updateが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。テレビ番組の録画時間とWindows Updateの自動更新の実行時刻が重ならないようにしてください。Windows Updateの自動更新の設定は、次の手順で確認、変更できます。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  ▶  (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」の順にクリックします。 2. 表示されたウィンドウ左の「Windows Update」▶ 「詳細オプション」の順にクリックします。 3. 「システムとセキュリティ」▶ 「再起動の日時を設定するように通知する」の順にクリックします。
時刻設定が合っていない	「DigitalTVbox」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻を正しく設定してください。詳しくは、「録画予約する」の「パソコンの時刻合わせ」(→P.51)をご覧ください。
スリープ・休止状態からの復帰ができなかった	「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。次の手順で「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているか確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  を右クリックします。 2. 表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。 3. 「システムとセキュリティ」▶ 「電源オプション」▶ 「プラン設定の変更」▶ 「詳細な電源設定の変更」▶ 「スリープ」の順にクリックします。

デジタル放送の双方向サービスが利用できない

原因	対処
利用している番組・放送がモデム接続しかサポートしていない	このパソコンでは、モデム接続しかサポートしていない番組・放送の双方向サービスは利用できません。


スリープや休止状態にならない


原因	対処
デジタル放送の番組情報データを取得中の状態である	番組情報の取得中は、自動的にスリープや休止状態になりません。通知領域にある  をクリックし、表示される「DigitalTVbox」アイコンが受信状態表示 ( : 青) のとき、全チャンネルの番組情報が自動的に取得されます。受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。自動的にスリープや休止状態にする場合は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「データ放送設定」▶「自動取得／表示」の順にクリックし、「データ放送自動取得」を「OFF」にしてください。

メッセージが表示される


ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法をまとめています。

「DigitalTVbox」でメッセージが表示される

メッセージ	対処
放送チャンネルではないため、視聴できません。コード：E200	別のチャンネルを選んで視聴してください。
この受信機ではこのチャンネルは受信できません。コード：E210	
受信レベルが低下しています。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」(→P.16)をご覧ください。
低階層に切り換わりました。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201	
信号が受信できません。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E202	
このチャンネルは存在しません。コード：E204	存在しないチャンネルが選択されています。 チャンネル番号が間違っていないか、確認してください。
現在放送されていません。コード：E203	このチャンネルは現在、放送休止中です。 チャンネルを変えるなどして利用してください。
接続アンテナのショートを検出しました。アンテナとの接続を確認してください。コード：E209	アンテナとパソコンの接続に問題があります。古いアンテナやケーブルを使用している場合にこのメッセージが表示されることがあります。
センターに接続できませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。コード：E301	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 詳しくは、  『取扱説明書<スタートガイド>』の「インターネットに接続せずにセットアップしたときは」-「インターネットに接続する」をご覧ください。
通信ができませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。	

メッセージ	対処
B-CASカードを正しくセットしてください。	<p>(対処1)「miniB-CASカードをセットする」(→P.15)をご覧ください。B-CASカードが正しくセットされているかご確認ください。その後、次の手順に従ってカードIDを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.B-CASカードの向き、表裏が正しいか確認します。 2.「DigitalTVbox」を起動します。 3.「メニュー」▶「設定」▶「情報」▶「B-CASカード」の順に選択し、20桁の数字(カードID)が表示されれば、B-CASカードは正しくセットされています。 <p>(対処2) B-CASカードをセットし直しても、20桁の数字(カードID)が表示されない場合、パソコンになんらかの問題が発生していますので、故障や修理に関する受付窓口にご相談ください。 詳しくは、『取扱説明書<スタートガイド>』の「富士通の窓口に相談する」をご覧ください。</p>
年齢制限設定がありません。	<p>「DigitalTVbox」の年齢制限設定をしていない状態で、視聴に年齢制限がある番組を利用しようとすると表示されます。 次の手順で年齢制限設定を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「詳細設定」▶「視聴制限」の順にクリックします。 2.「新規暗証番号」および「(再入力) 新規暗証番号」を入力し、「登録」をクリックします。 3.「暗証番号」を入力し、「確定」をクリックします。 4.「視聴年齢制限」で、年齢を選択し、「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。
保存先ドライブのHDD容量が不足しているため、録画を中止(中断)しました。	<p>録画の開始時(または録画中)に、録画保存先のハードディスク容量が5GB以下になった場合に表示されます。 録画保存先のハードディスクから不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてください。</p>
ディスプレイやその他の使用機器が非対応、またはそれらの設定や接続に問題があるため、映像・音声の出力を停止しました。映像デバイスを確認してください。	<p>「はい」をクリックしてメッセージを消してください。 画面が復帰しない場合は、「DigitalTVbox」を終了してパソコンを再起動してください。</p>

BSデジタル放送で、NHKの受信料支払いに関するメッセージが表示される

メッセージ	対処
NHKと受信契約をしていない	<p>NHKと受信契約をすると、メッセージ画面が表示されなくなります。 受信契約をする場合は、電話でお申し込みください。 詳しいご案内を表示する場合は、 を2秒以上押し続けてください(「メニュー」▶「設定」▶「データ放送設定」▶「自動取得/表示」で「データ放送自動取得」を「ON」に設定しておく必要があります)。</p>

索引

A

AACs キー 57, 63

B

B-CAS カード 15

H

Hybridcast 31

S

SeeQVault 55

StationTV 34

あ

アンテナ電源 33

移動（ムーブ） 56

おまかせ予約 29

か

各部の名称と働き

パソコン 7

リモコン 8

画質モード 37

かんたん追いかけて再生 23

コピー制御信号 56

さ

再生

スキップ再生 53

ダイジェスト再生 53

ディスクの再生 62

録画番組の再生 52

時刻合わせ 51

受信レベル 22

準備

テレビ 12

リモコン 18

初回設定 20

操作パネル 24

双方向サービス 31

外付けハードディスク 38

た

チャプター 54

データ放送 31, 34

電子番組表 26

は

番組表 26

ま

ムーブ 56

メディア

記録時間の目安 43

対応メディア 55

メニュー 25

ら

リモコン操作 23

録画 49

録画画質 38

録画予約

Windows を終了した状態や電源を切った状態

からの録画予約 46, 72

番組表で録画予約する 50

録画予約を取り消す 50

録画予約を変更する 50

Memo

テレビ操作ガイド

B5FK-7341-01-01

発行日 2016年5月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。